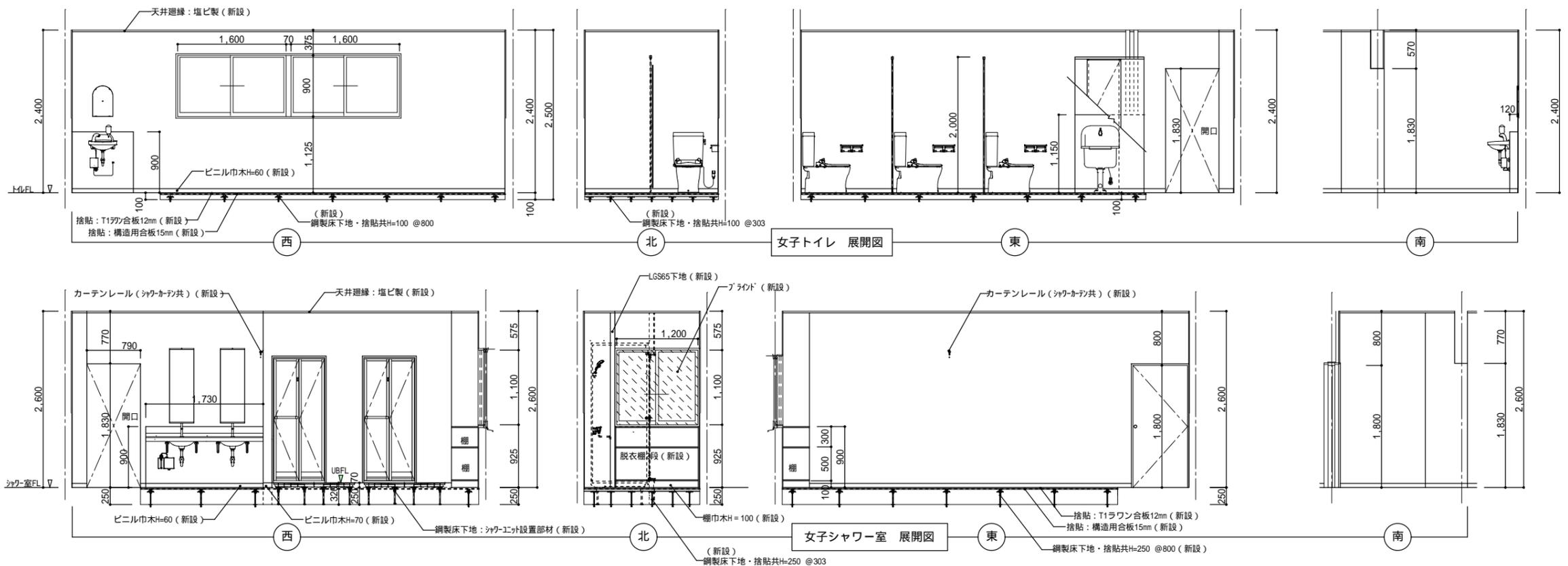
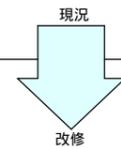


凡例: は、解体撤去範囲(建築工事)を表す
 凡例: は、解体撤去範囲(設備工事)を表す



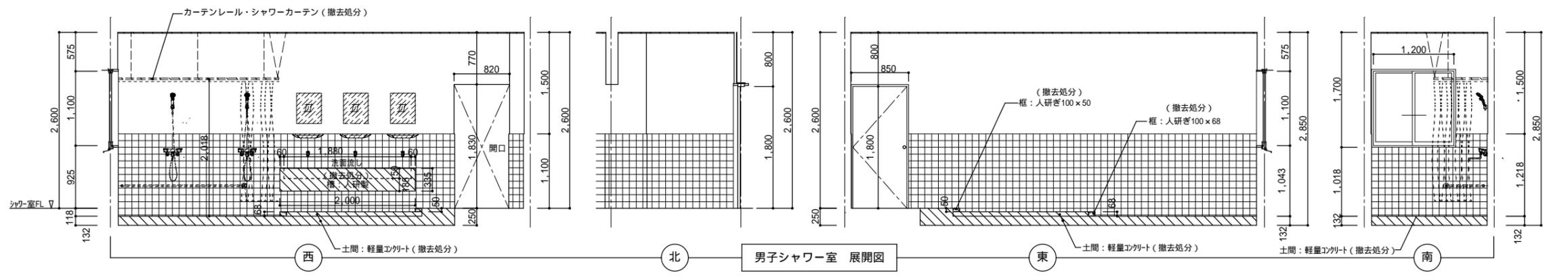
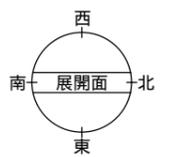
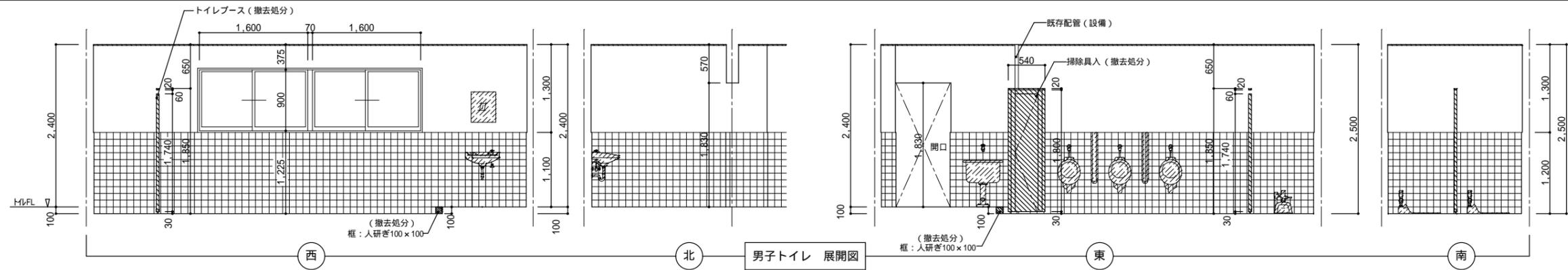
徳島県土整備部管轄課

工事名称 R 6 管轄 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築
 図名 (現況 改修) 2階 女子シャワー室・トイレ展開図

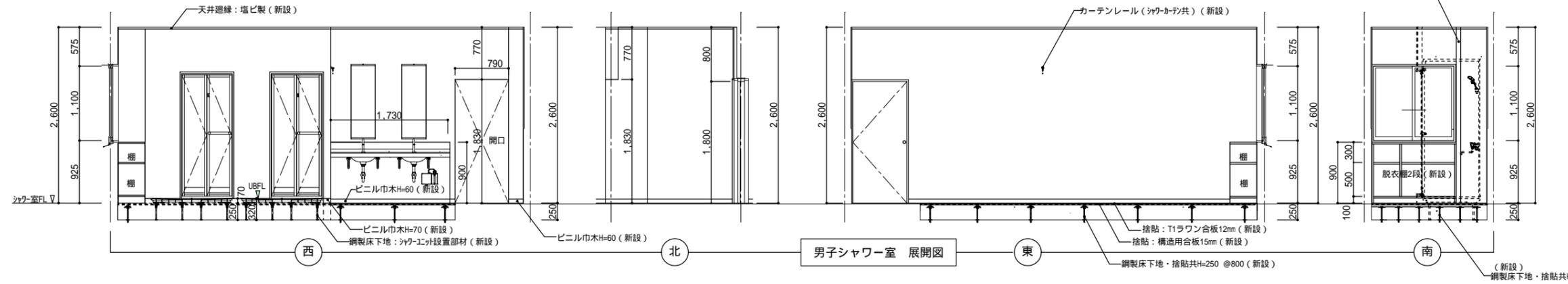
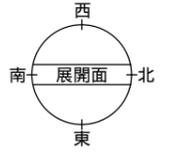
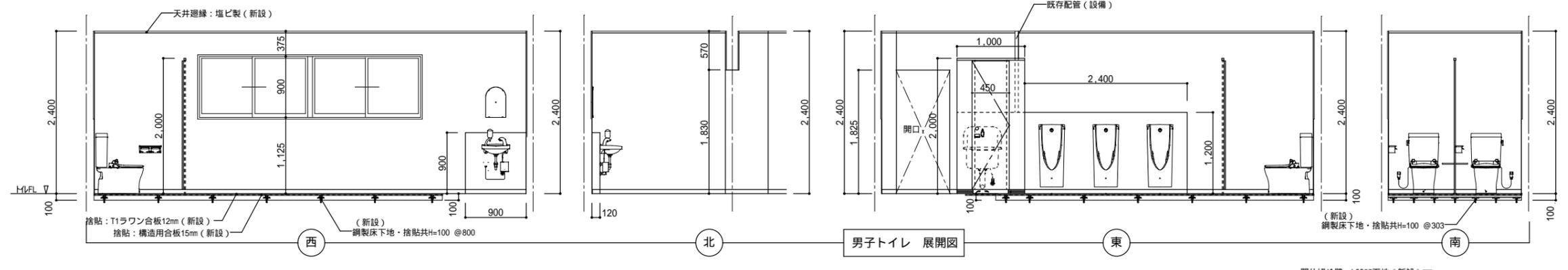
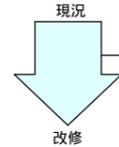
図面番号 A - 1 2
 縮尺 A2 1/50
 A3 1/71

max 株式会社 マックス設計
 大田 登 第 302457 号 知事登録 第 11071 号
 一級建築士 田 潤 宏 樹

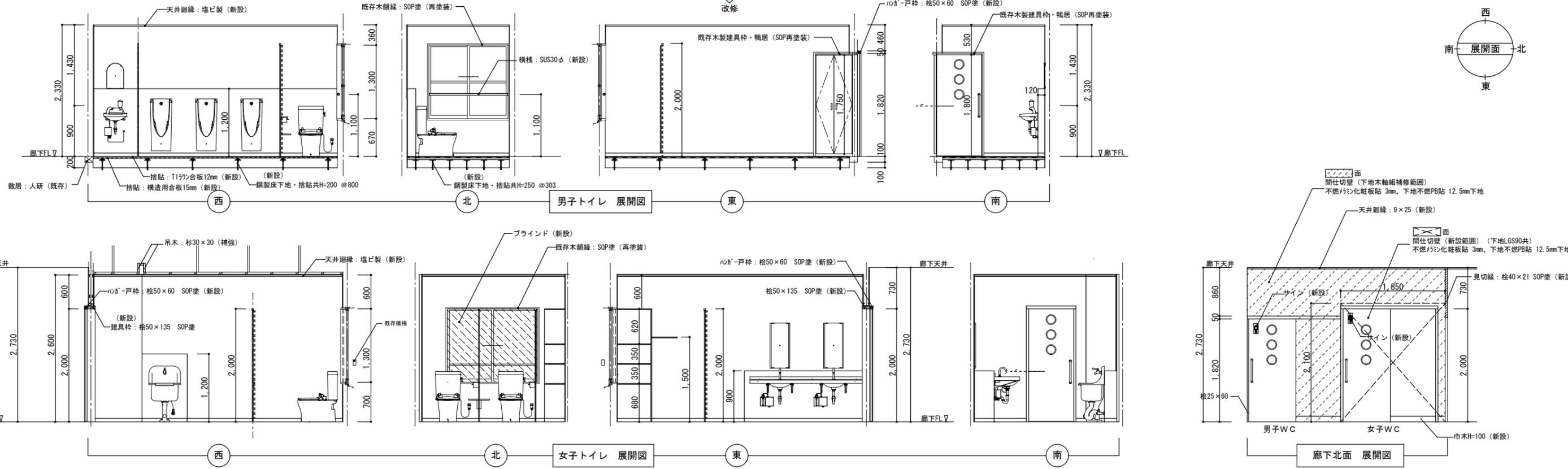
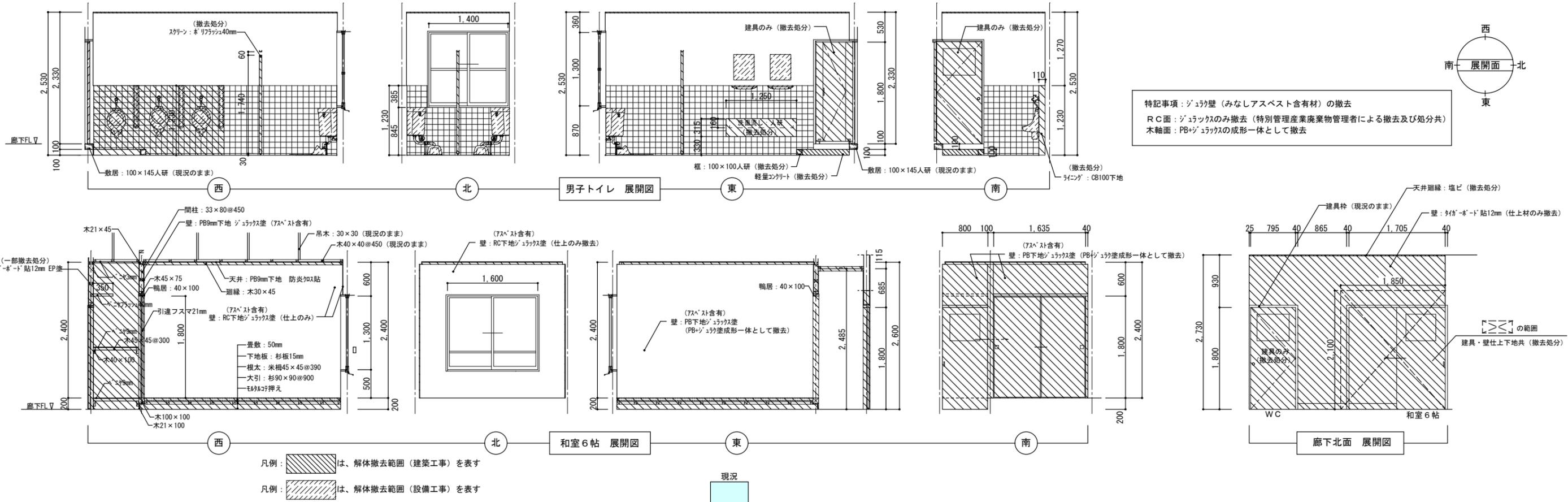
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2
 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840



凡例: は、解体撤去範囲(建築工事)を表す
 凡例: は、解体撤去範囲(設備工事)を表す

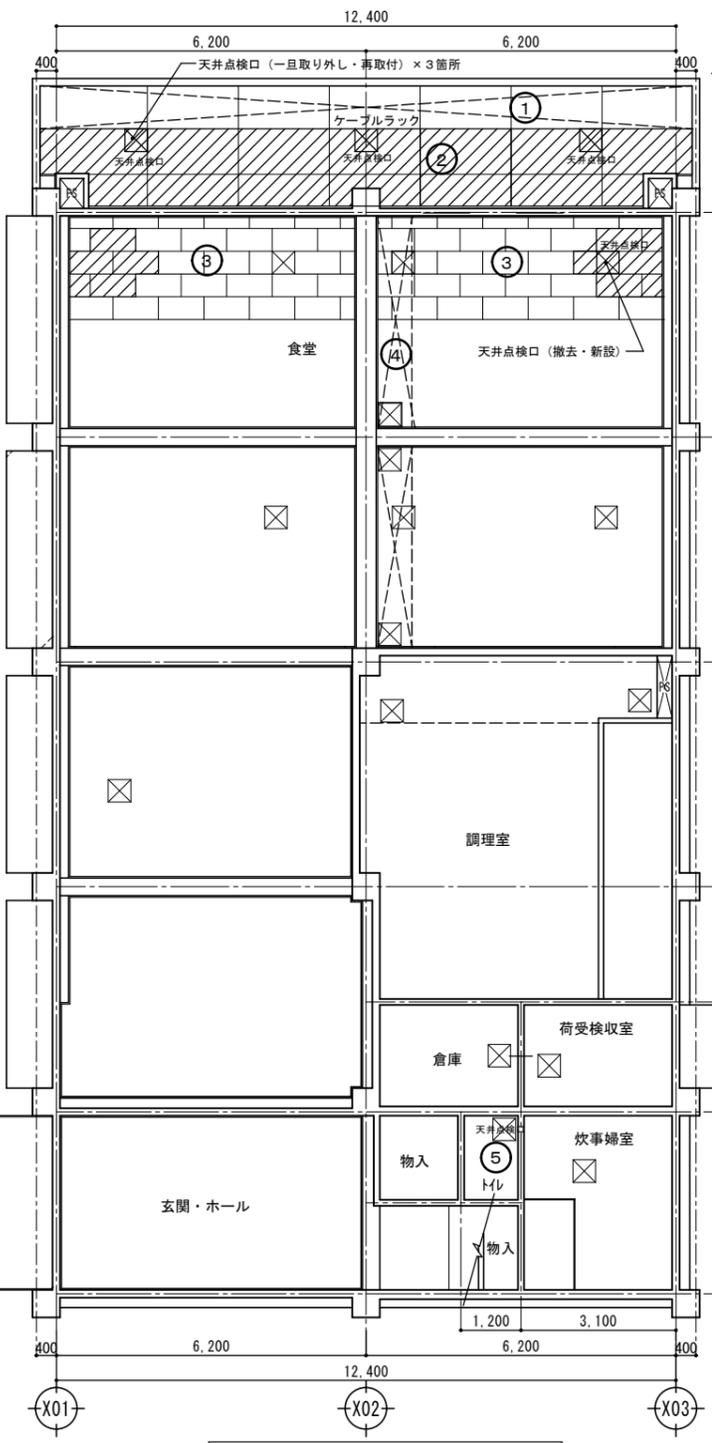


徳島県土木整備部管轄課	工事名称	R 6 管轄 鳴門高等学校 鳴・養養 研修会館等改修工事建築	図面番号	A - 13	max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 潤 宏 樹 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	(現況 改修) 2階 男子シャワー室・トイレ展開図	縮尺	A2 1/50、1/10 A3 1/71、1/14	

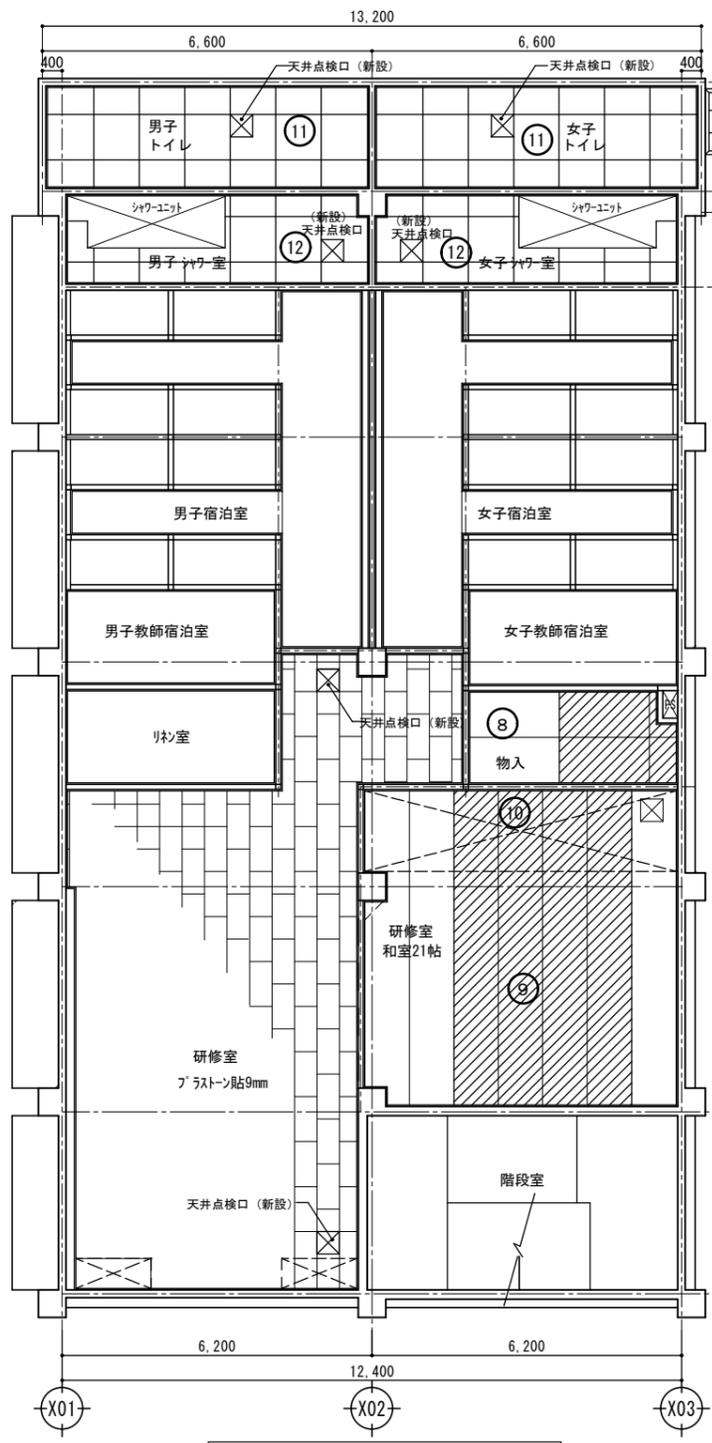




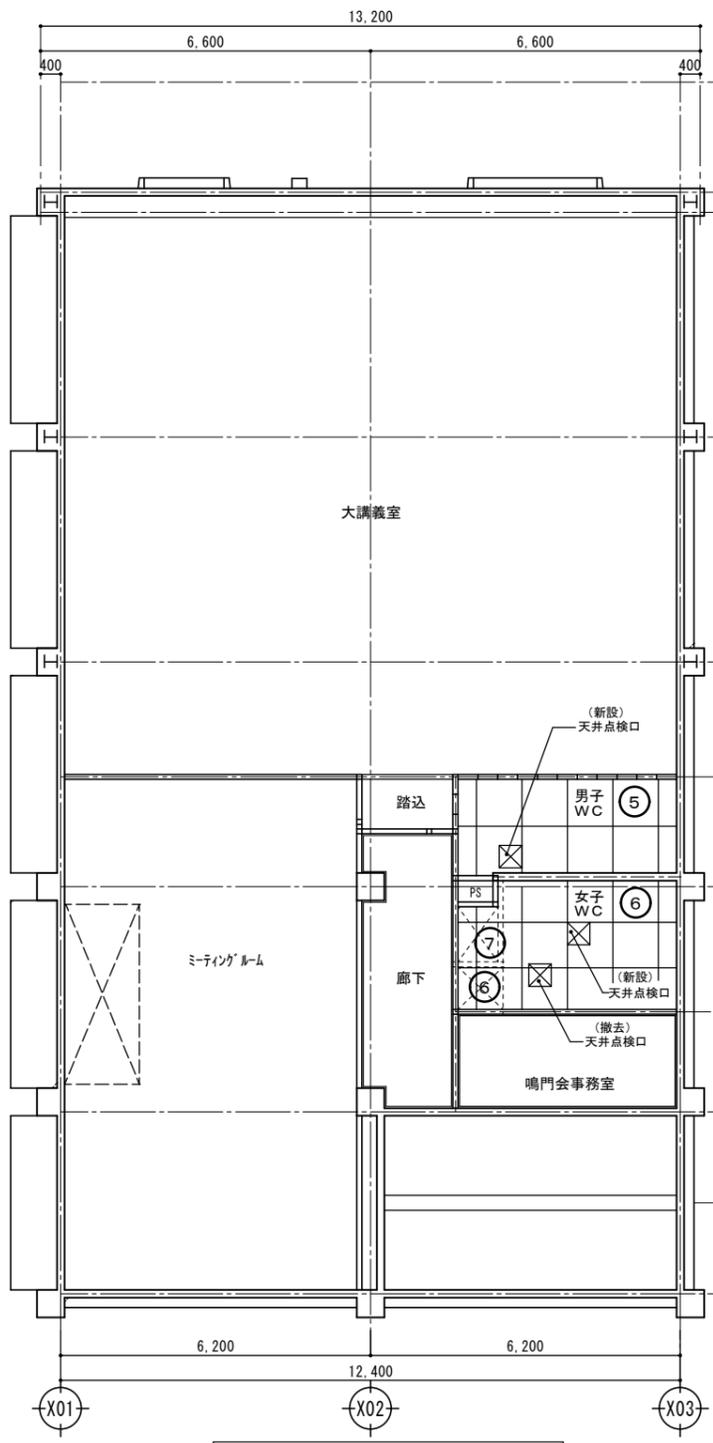
(現況) → (改修) 天井改修概要書 凡例: は、天井仕上貼のうち、一部の撤去範囲を表す、床養生(養生シート敷)共。 ※天井点検口: アルミ450×450(再使用・撤去共) アルミ600×600(新設)											
記号	室名	現況	改修	記号	室名	現況	改修	記号	室名	現況	改修
①	軒天	大平板貼 4mm、7割リシ吹付 木下地 (現況のまま)	改修なし	⑤	1F・3F男 WC	PB貼 9mm AEP塗 (3Fのみ撤去処分) 木下地 (現況のまま)	1F: EP塗替、3F: 準不燃化粧PB貼 9.5mm×910×910 (新設) 3F: 木下地補修	⑨	2F 研修室	ビニール貼、PB貼9mm下地 (一部撤去処分) 木下地 (現況のまま)	ビニール貼、不燃積層PB貼 9.5mm下地 (一部新設) 木下地 (補修)
②		繊維強化セメント板 4mm 外装薄塗材E 木下地 (現況のまま)		繊維強化セメント板 4mm 外装薄塗材E (新設) 木下地 (補修)	⑥	3F 和室6帖 踏込	防災クロス貼、PB貼 9mm下地 (撤去処分) 木下地 (現況のまま)	(女子WCに用途変更) 準不燃化粧PB貼 9.5mm×910×910 (新設) 木下地 (補修及び補強)	⑩	和室21帖	ビニール貼、不燃積層PB貼 9.5mm下地 (一部新設) 木下地 (現況のまま)
③	食堂	プラスチック貼9mm 木下地 (一部撤去処分) (現況のまま)	不燃積層PB貼 9.5mm (一部新設) 木下地 (補修)	⑦	3F 押入	ラワンベニヤ貼 3mm (撤去処分) 木下地 (撤去処分)	木下地 (補修及び補強)	⑪	2F 男女WC	E P 塗、PB底目地貼 9mm下地 (撤去処分) 木下地 (現況のまま)	準不燃化粧PB貼 9.5mm×910×910 (新設) 木下地 (補修)
④		不燃積層PB貼 9.5mm 木下地 (現況のまま)		改修なし	⑧	2F 物入	不燃積層PB貼 9.5mm (一部撤去処分) 木下地 (現況のまま)	不燃積層PB貼 9.5mm (一部新設) 木下地 (補修)	⑫	2F 男女シャワー室	A E P 塗、石綿板 4mm貼下地 (撤去処分・7スレ含有) 木下地 (現況のまま)



(改修) 1階 天井伏図 S=1/100



(改修) 2階 天井伏図 S=1/100

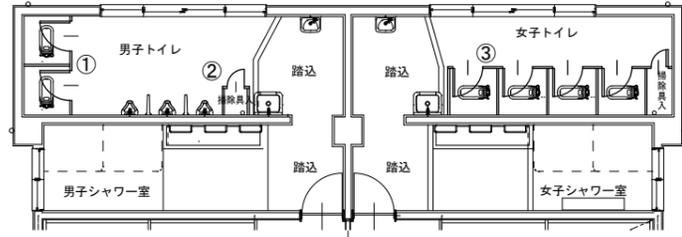


(改修) 3階 天井伏図 S=1/100



(現況) 2階 撤去建具表 S=1/50

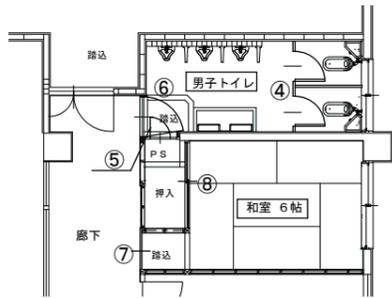
名称	数量	① 男子トイレ	1箇所	② 男子トイレ掃除具入	1箇所	③ 2F女子トイレ+掃除具入れ	1箇所
型式		トイレブース		同 左		同 左	
見込		40mm		同 左		同 左	
硝子							
仕上		ポリ合板フラッシュ		同 左		同 左	
金物等		SUS頭ツナギ 表示錠 紙巻器 付属金物一式		SUS頭ツナギ 付属金物一式		SUS頭ツナギ 表示錠 紙巻器 付属金物一式	
形状寸法							



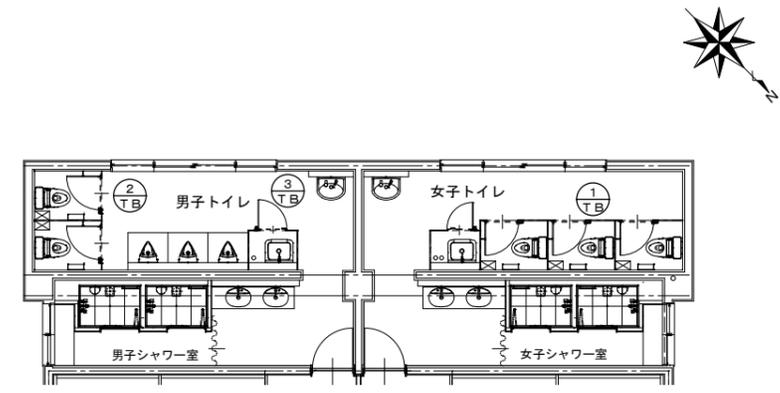
(現況) 2階 撤去建具配置図 S=1/100

(現況) 3階 撤去建具表 S=1/50

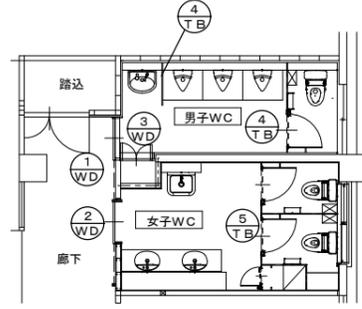
名称	数量	④ 男子トイレ	1箇所	⑤ 男子トイレPS	1箇所	⑥ 男子トイレ出入口	1箇所	⑦ 和室6帖	1箇所	⑧ 和室6帖	1箇所
型式		トイレブース		両袖固定 片開フラッシュ戸		片開フラッシュ戸		片引フラッシュ戸		引違フスマ戸	
見込		隔壁: 40 ドア: 30		36		36		33		21	
硝子						型板ガラス		型板ガラス			
仕上		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		フスマ紙	
金物等		SUS頭ツナギ 表示錠 紙巻器 付属金物一式		摺り手 付属金物一式		摺り手 付属金物一式		引手 角レール 8×8 付属金物一式		引手 付属金物一式	
形状寸法											



(現況) 3階 撤去建具配置図 S=1/100



(改修) 2階建具配置図 S=1/100

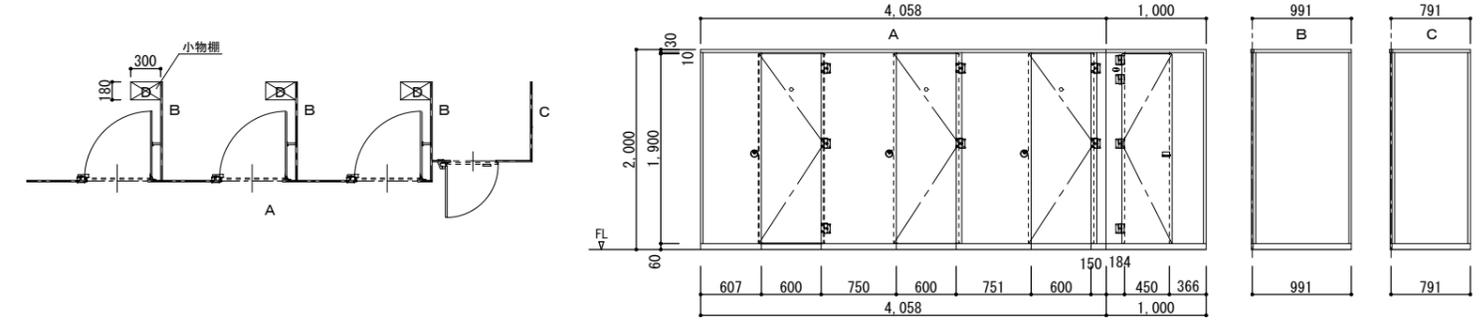


(改修) 3階建具配置図 S=1/100

(改修) 建具表 S=1/50

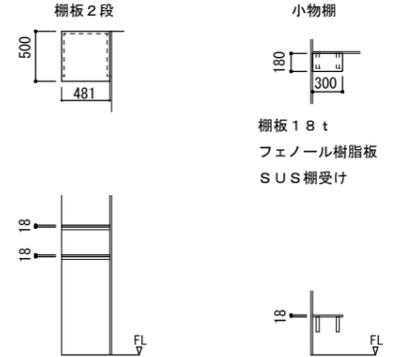
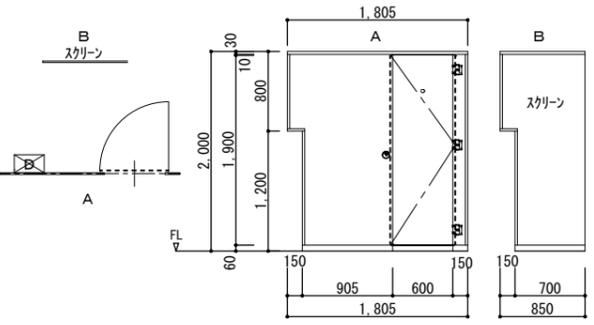
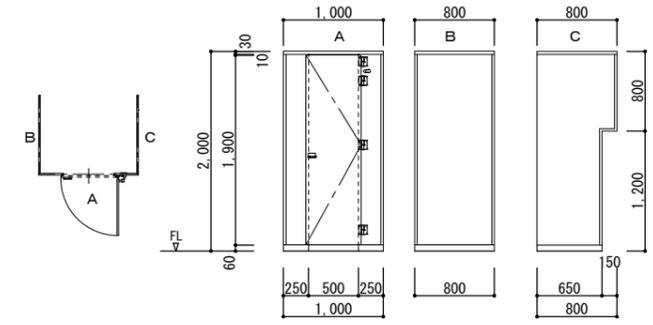
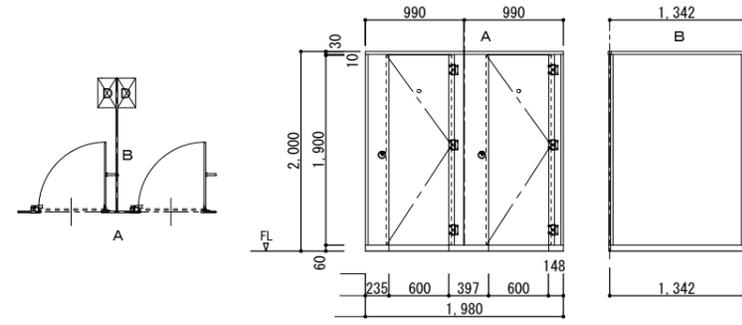
名称	数量	TB-1 2F女子トイレ	1箇所
型式		トイレブース	
見込		隔壁：16、 ドア：16（コーナーR形状）	
硝子			
仕上		フェノール樹脂板	
金物等		取手、打掛錠、グレビティ丁番、戸当り、帽子掛、巾木・笠木ステンレス部材、小物棚、モップ掛け2ヶ、棚板2段、付属金物一式	

形状寸法



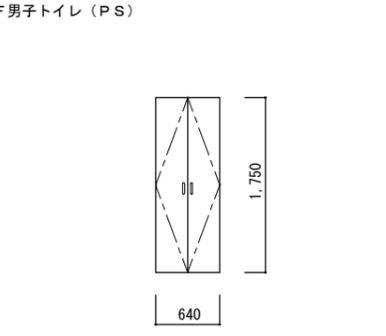
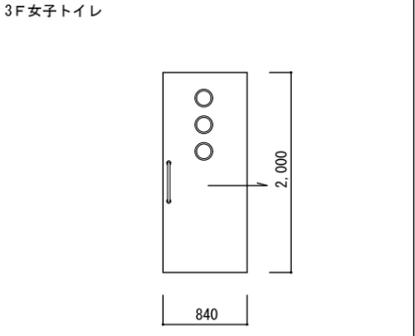
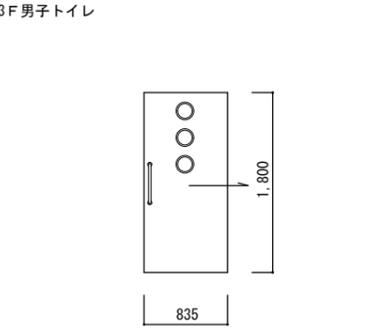
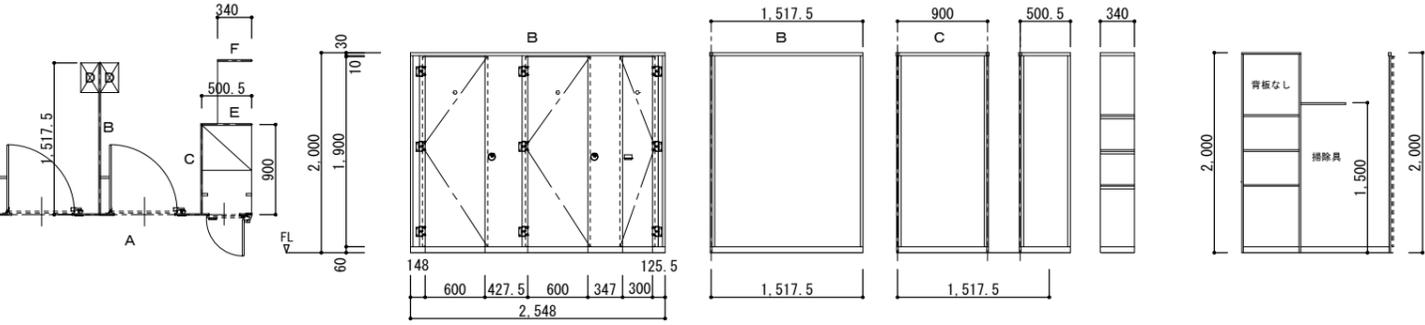
名称	数量	TB-2 2F男子トイレ	1箇所	TB-3 2F男子トイレ掃除具入れ	1箇所	TB-4 3F男子トイレ・スクリーン	1箇所	各部共通
型式		トイレブース		同 左		トイレブース		
見込		隔壁：16、 ドア：16（コーナーR形状）		同 左		同 左		
硝子								
仕上		フェノール樹脂板		同 左		同 左		
金物等		取手、打掛錠、グレビティ丁番、戸当り、帽子掛、巾木・笠木ステンレス部材、小物棚、付属金物一式		取手、グレビティ丁番、巾木・笠木ステンレス部材、モップ掛け2ヶ、棚板2段、付属金物一式		取手、打掛錠、グレビティ丁番、戸当り、帽子掛、巾木・笠木ステンレス部材、小物棚、付属金物一式		

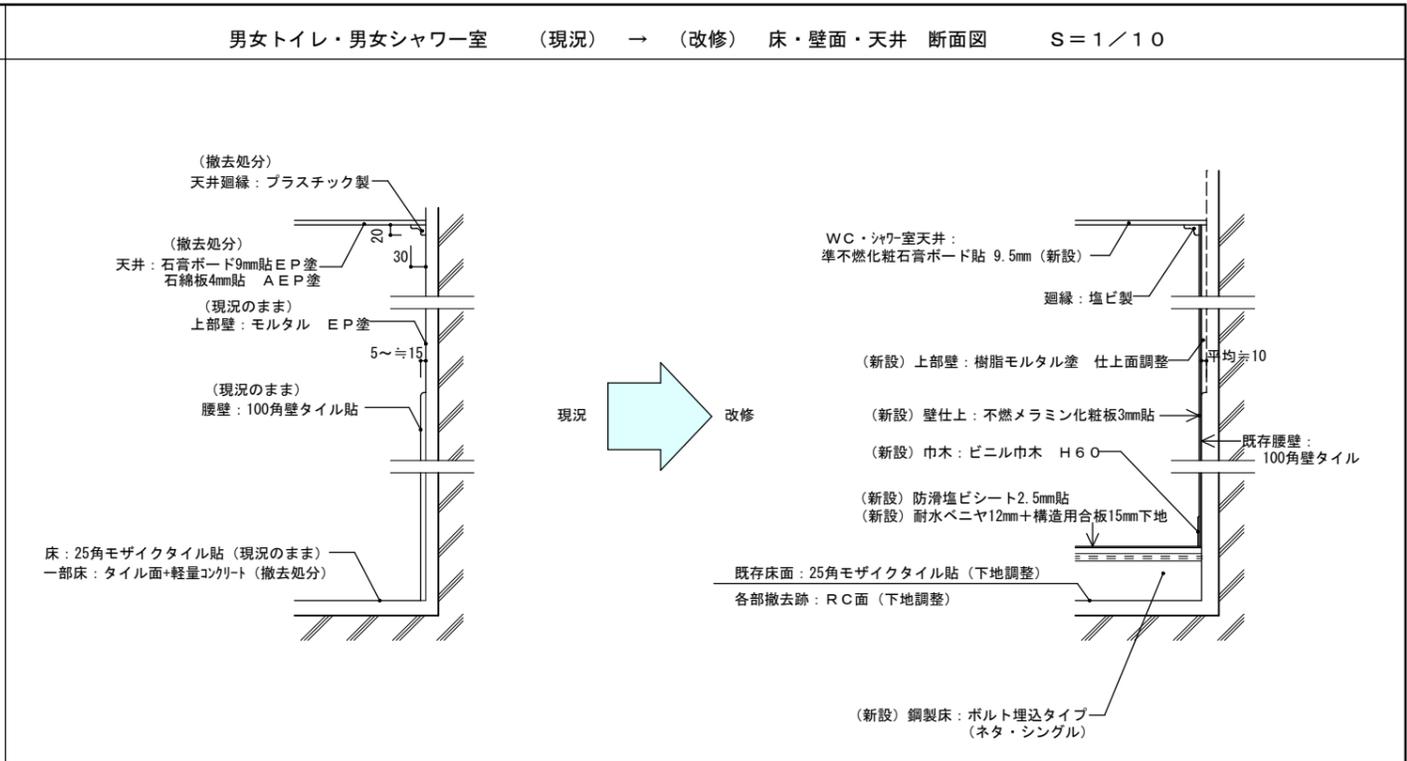
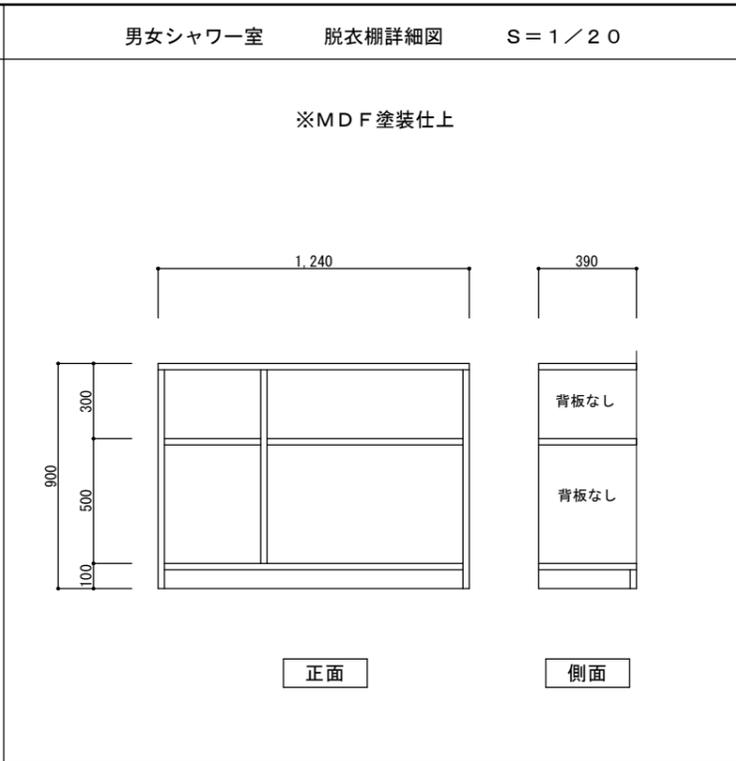
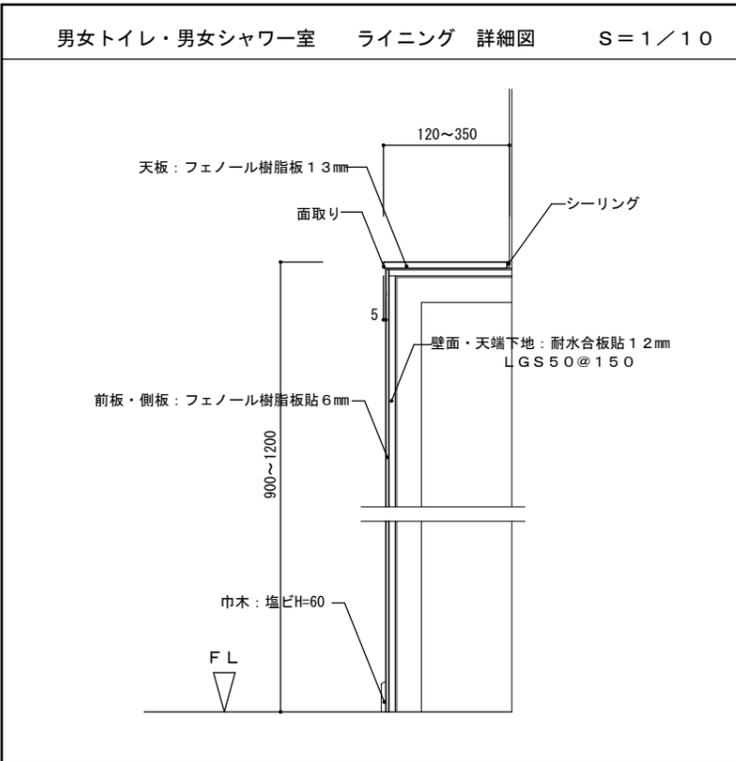
形状寸法



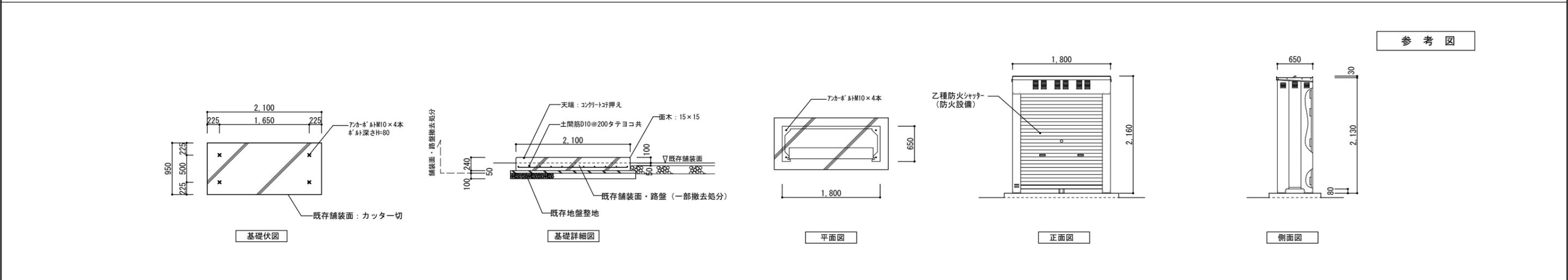
名称	数量	TB-5 3F女子トイレ・掃除具入れ・棚	1箇所	WD-1	1箇所	WD-2	1箇所	WD-3	1箇所
型式		トイレブース		片引フラッシュハンガー戸		同 左		両開フラッシュ戸	
見込		隔壁：16、 ドア：16（コーナーR形状）		36		同 左		25	
硝子				アクリル樹脂板2mm 150φ		同 左			
仕上		フェノール樹脂板		メラミン化粧板、(小口 検)		同 左		同 左	
金物等		取手、打掛錠、グレビティ丁番、戸当り、帽子掛、巾木・笠木ステンレス部材、小物棚、掃除具入れ、モップフック2ヶ、収納棚、付属金物一式		SUS引手、自閉式上吊引戸装置、緩衝材、付属金物一式		同 左		取手、丁番、付属金物一式	

形状寸法





乙種防火仕様 LPガス容器収納庫 参考図 S=1/50



器具表 (改修後) <洗面カウンター参考品番> <建築工事>

名称	国交省記号	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	付属品 (TOTO)	付属品 (LIXIL)	階						計	
						1階	2階		3階				
						炊事 婦 室	男子 WC	女子 WC	男子 シャ ワ ー 室	女子 シャ ワ ー 室	男子 WC	女子 WC	
マーブライト カウンター ボール一体タイプ		MH45 (1,650 L) ニ方エブロン付 カウンター (オックス) ボール (バブル)	MB-451KD5WL (1,650 L)	TLE26SS1A (台付自動水栓) (1φx100V) TLC11AR (立水栓) TLC4A1F (アングル形止水栓) T7W41 (壁排水金物) x 2 M9P40A (ブラケット) x 3 TS126AR (水石けん入れ) x 2 YMK51K (化粧鏡) x 2	AM-320CV1 (台付自動水栓) (1φx100V) LF-E02 (立水栓) LF-3V382W80 (アングル形止水栓) LF-105PAL-H (壁排水金物) x 2 MBF-50A (ブラケット) x 3 KF-24F (水石けん入れ) x 2 KF-D3611AS (化粧鏡) x 2				1	1			2
マーブライト カウンター ボール一体タイプ		MH45 (2,000 L) ニ方エブロン付 カウンター (オックス) ボール (バブル)	MB-451KD5WL (2,000 L)	TLE26SS1A (台付自動水栓) (1φx100V) x 2 T6BR (給水金物) x 2 T156PH (パイプホルダー) x 2 T7W34 (床排水金物) x 2 M9P40A (ブラケット) x 3 TS126AR (水石けん入れ) x 2 YM3580FC (化粧鏡) x 2	AM-320CV1 (台付自動水栓) (1φx100V) x 2 A-2202 (給水金物) x 2 LF-105SAL-H (床排水金物) x 2 MBF-50A (ブラケット) x 3 KF-24F (水石けん入れ) x 2 KF-D3083AS (化粧鏡) x 2							1	1



EM-CET 22□ E 5.5□	職員室L-C-2
EM-CET 22□ E 8□	メッセジワイヤ22□ 系統連系 EC
EM-CEE 2□-4C	OVGR・RPR

EM-CET 22□ E 5.5□ (G42)	職員室L-C-2
EM-CET 22□ E 8□ (G42)	系統連系 EC
EM-CEE 2□-4C (G22)	OVGR・RPR

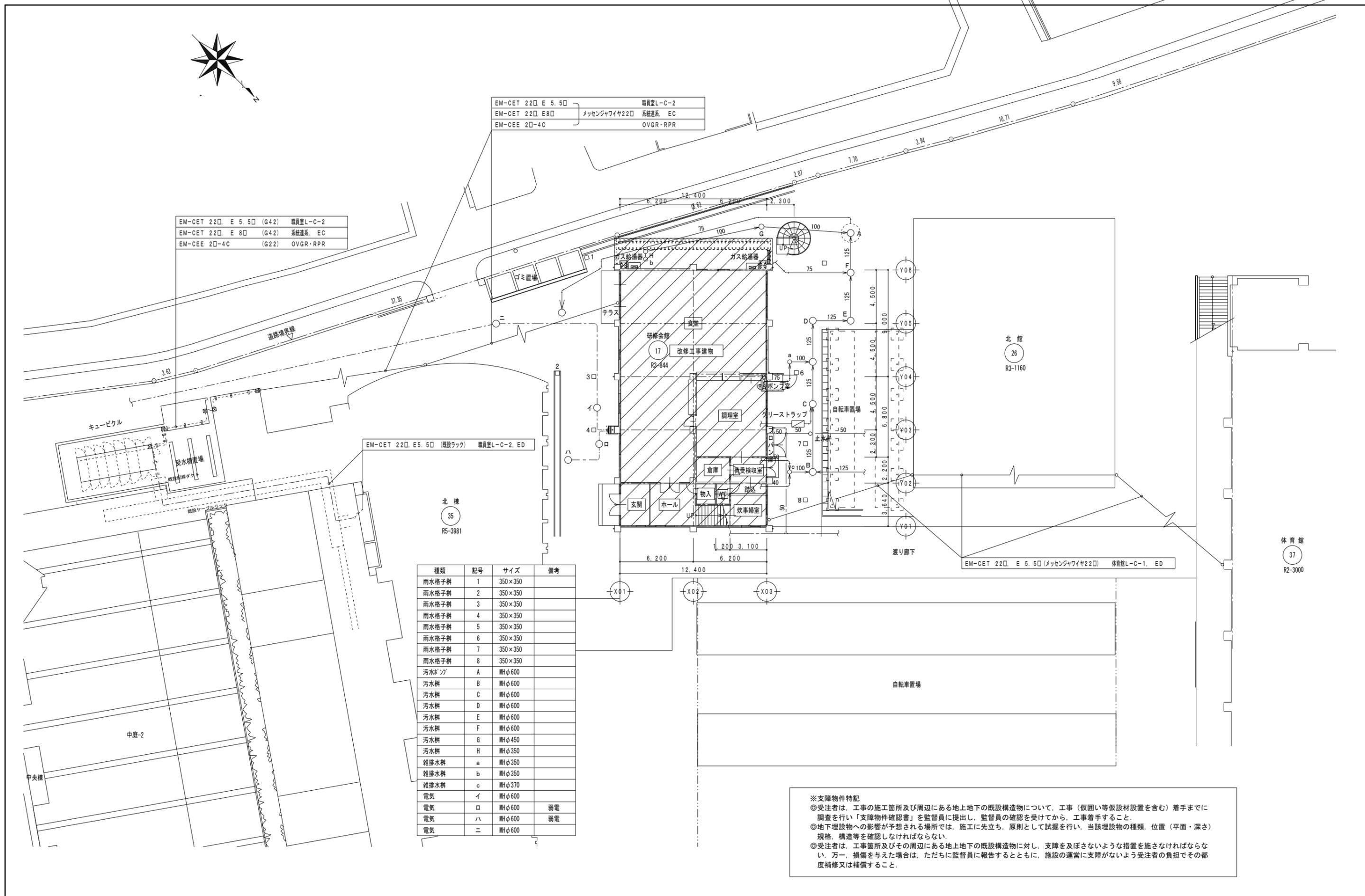
EM-CET 22□ E5.5□ (既設ラック)	職員室L-C-2, ED
--------------------------	--------------

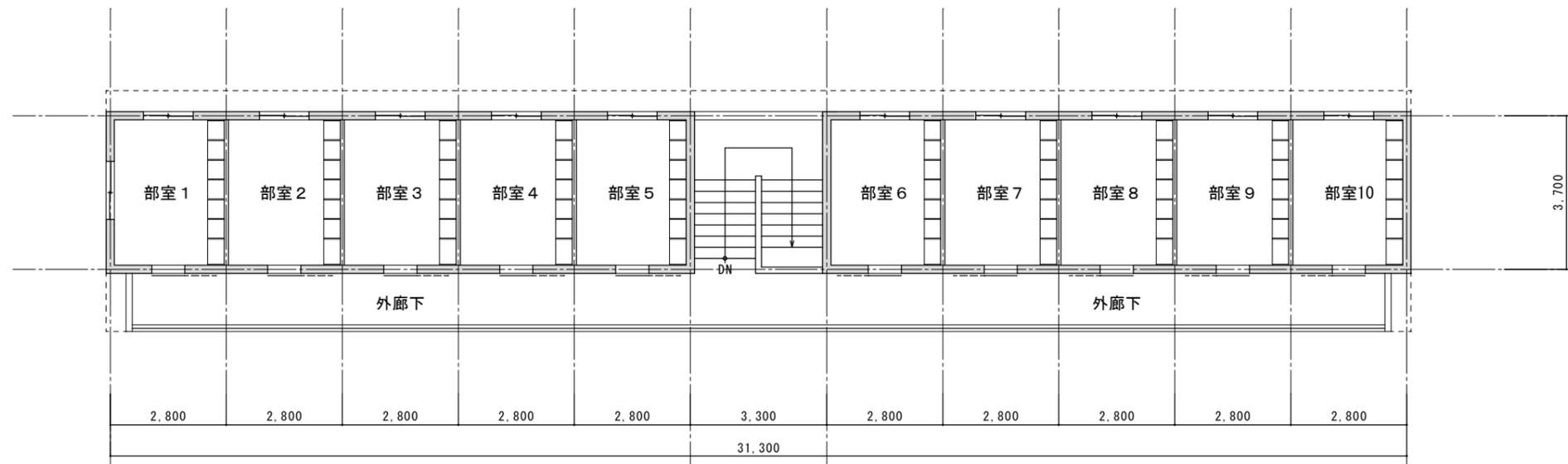
EM-CET 22□ E 5.5□ (メッセジワイヤ22□)	体育館L-C-1, ED
--------------------------------	--------------

種類	記号	サイズ	備考
雨水格子樹	1	350×350	
雨水格子樹	2	350×350	
雨水格子樹	3	350×350	
雨水格子樹	4	350×350	
雨水格子樹	5	350×350	
雨水格子樹	6	350×350	
雨水格子樹	7	350×350	
雨水格子樹	8	350×350	
污水ポンプ	A	MHφ600	
污水樹	B	MHφ600	
污水樹	C	MHφ600	
污水樹	D	MHφ600	
污水樹	E	MHφ600	
污水樹	F	MHφ600	
污水樹	G	MHφ450	
污水樹	H	MHφ350	
雑排水樹	a	MHφ350	
雑排水樹	b	MHφ350	
雑排水樹	c	MHφ370	
電気	イ	MHφ600	
電気	ロ	MHφ600	弱電
電気	ハ	MHφ600	弱電
電気	ニ	MHφ600	

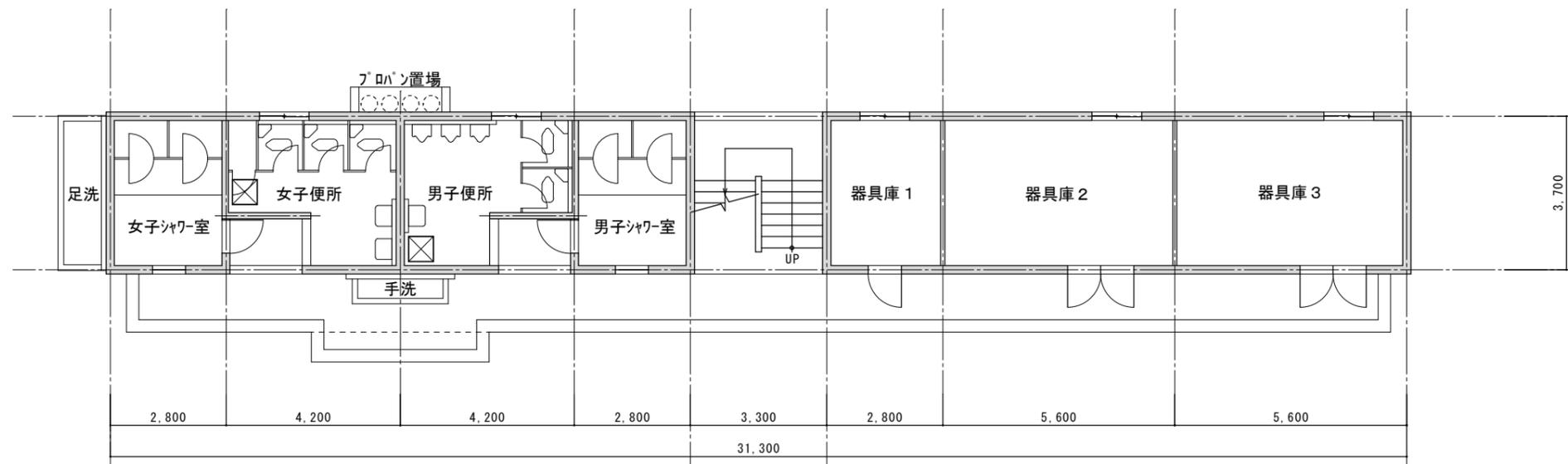
※支障物件特記

- ◎受注者は、工事の施工箇所及び周辺にある地上地下の既設構造物について、工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから、工事着手すること。
- ◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）規格、構造等を確認しなければならない。
- ◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。





部室 2階平面図 1/100



部室 1階平面図 1/100

徳島県土整備部営繕課

●工事名 R6宮崎 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築

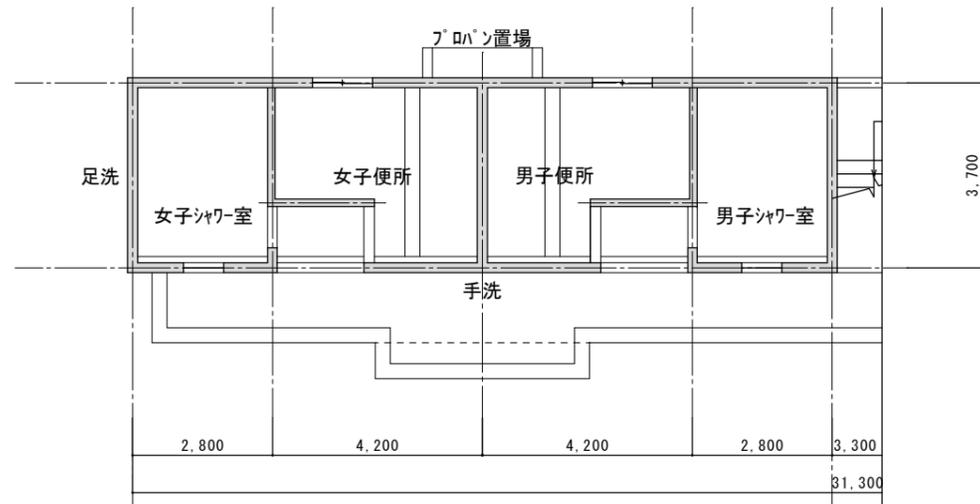
●図面番号 A-21

●図面名 1、2階平面図 <既存>

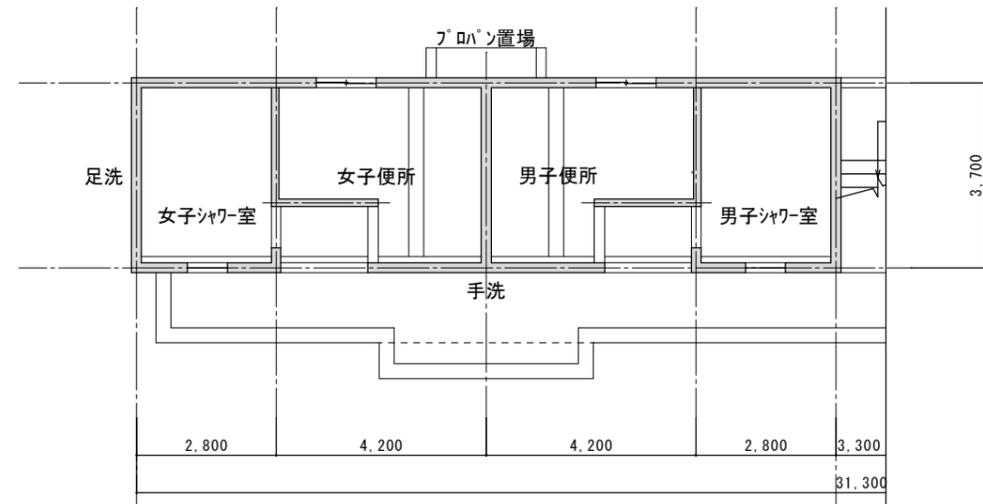
●縮尺 A2: 1/100
A3: ×71%

株式会社 平島弘之+ TEAM28
HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

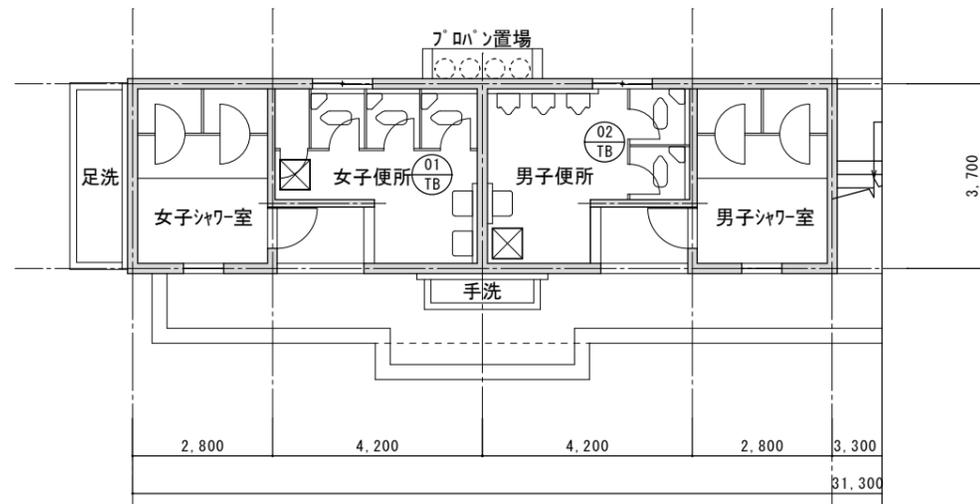
一級建築士 第15242号 豊山七志



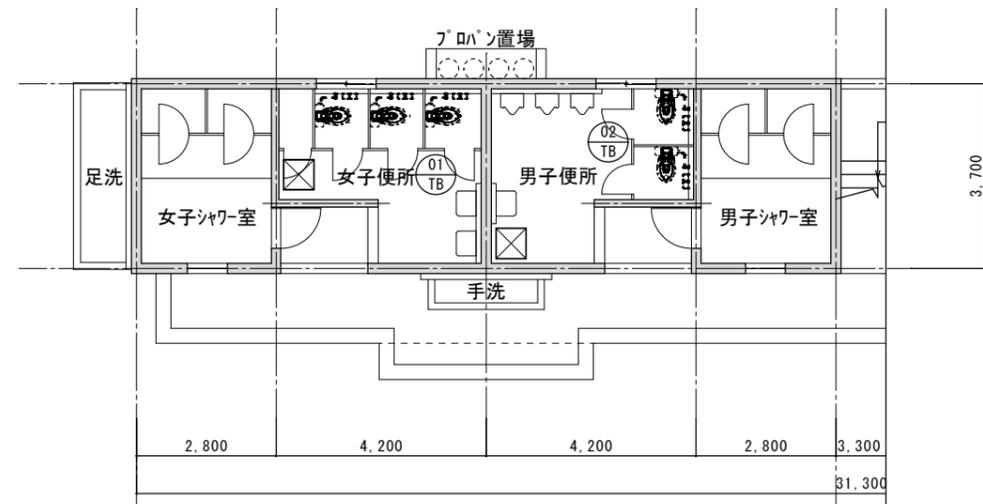
部室 1階便所天井伏図 1/100 <既存>



部室 1階便所天井伏図 1/100 <改修後>



部室 1階便所平面図 1/100 <既存>



部室 1階便所平面図 1/100 <改修後>

内部仕上表

階	室名	区分	床	FLH	巾木	H	腰壁	壁	天井	CH	廻縁	備考
1階	女子便所	既設	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)]	[-50]	[陶器質タイル張]	-	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)]	[RC モルタル薄塗仕上]	[RCスラブ モルタル薄塗仕上]	[2,580]	-	[トイレブース]
		改修部	便器撤去部・取合すり部 磁器タイル張(50角)補修	そのまま	陶器質タイル張 補修		機器撤去部・取合すり部 磁器タイル張(100角)補修	そのまま	そのまま	そのまま	そのまま	扉内開きを外開きに改修
	男子便所	既設	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)]	[-50]	[陶器質タイル張]	-	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)]	[RC モルタル薄塗仕上]	[RCスラブ モルタル薄塗仕上]	[2,580]	-	[トイレブース]
		改修部	便器撤去部・取合すり部 磁器タイル張(50角)補修	そのまま	陶器質タイル張 補修		機器撤去部・取合すり部 磁器タイル張(100角)補修	そのまま	そのまま	そのまま	そのまま	扉内開きを外開きに改修

※図中 [] 内仕上は既設を示す。

徳島県土整備部宮補課

●工事名 R6宮補 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築

●図面番号 A-22

●図面名 便所平面図・天井伏図・仕上表 <既存、改修後>

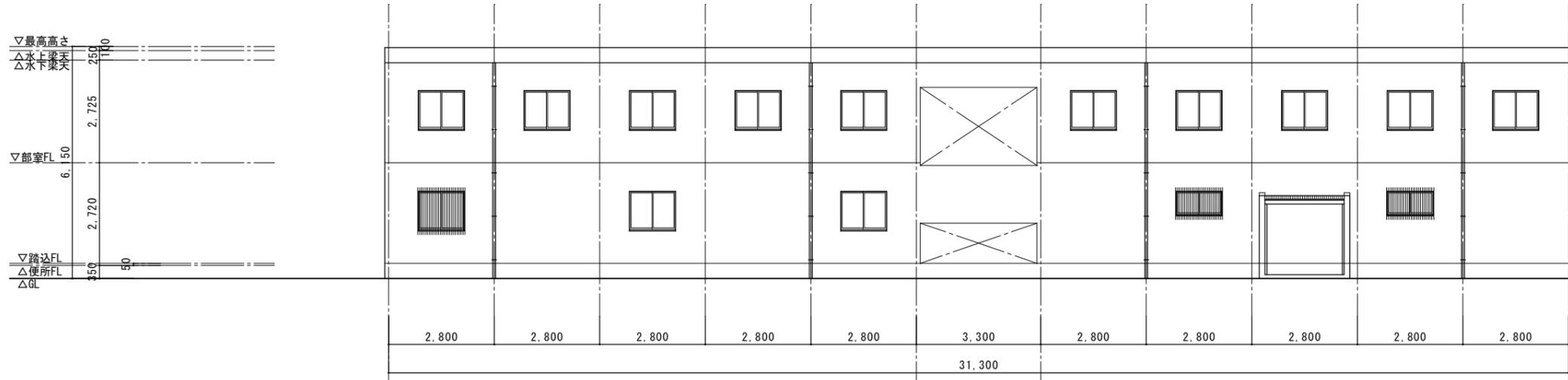
●縮尺 A2: 1/100
A3: x 71%

株式会社 平島弘之+ TEAM28
HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

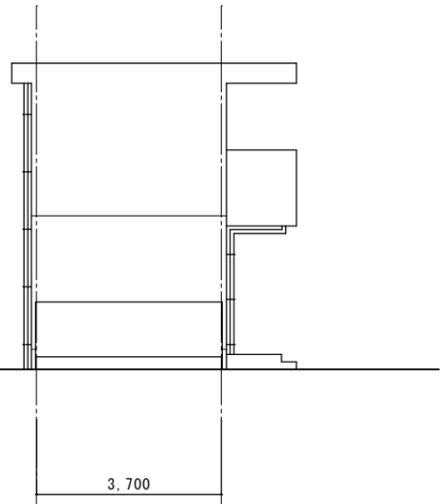
一級建築士 第18242号 藤山仁志

外部仕上表

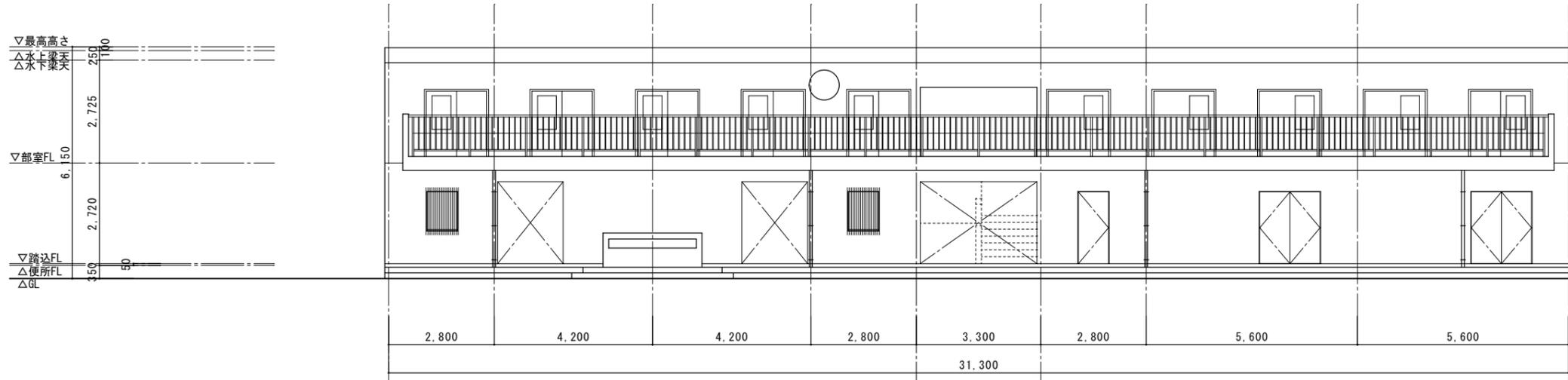
記号	場所	既設仕上	備考	記号	場所	既設仕上	備考
Ⓐ	屋根	[均しモルタル t25 シート防水 シルバー仕上 端部 アルミアングル押え]		Ⓕ	通路<1階>	[モルタル金切り仕上]	
Ⓑ	パラペット	[コンクリート打放し 外装薄塗材吹付]		Ⓖ	外廊下<2階>	[床:防水モルタル金切り仕上 手摺壁:コンクリート打放し 外装薄塗材吹付 手摺:ステンレス製]	
Ⓒ	軒天	[コンクリート打放し 外装薄塗材吹付]		Ⓖ	ドレイン	[コナードレイン 75φ用]	
Ⓓ	外壁	[コンクリート打放し 外装薄塗材吹付]		Ⓙ	縦樋	[塩ビパイプ 75φ VP塗 <掴み金物共>]	
Ⓔ	巾木	[コンクリート打放し仕上 H=400]		Ⓚ	手洗い	[防水モルタル塗]	



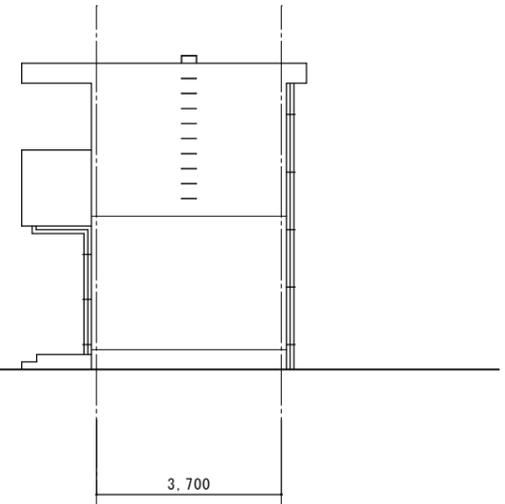
部室 東立面図 1/100



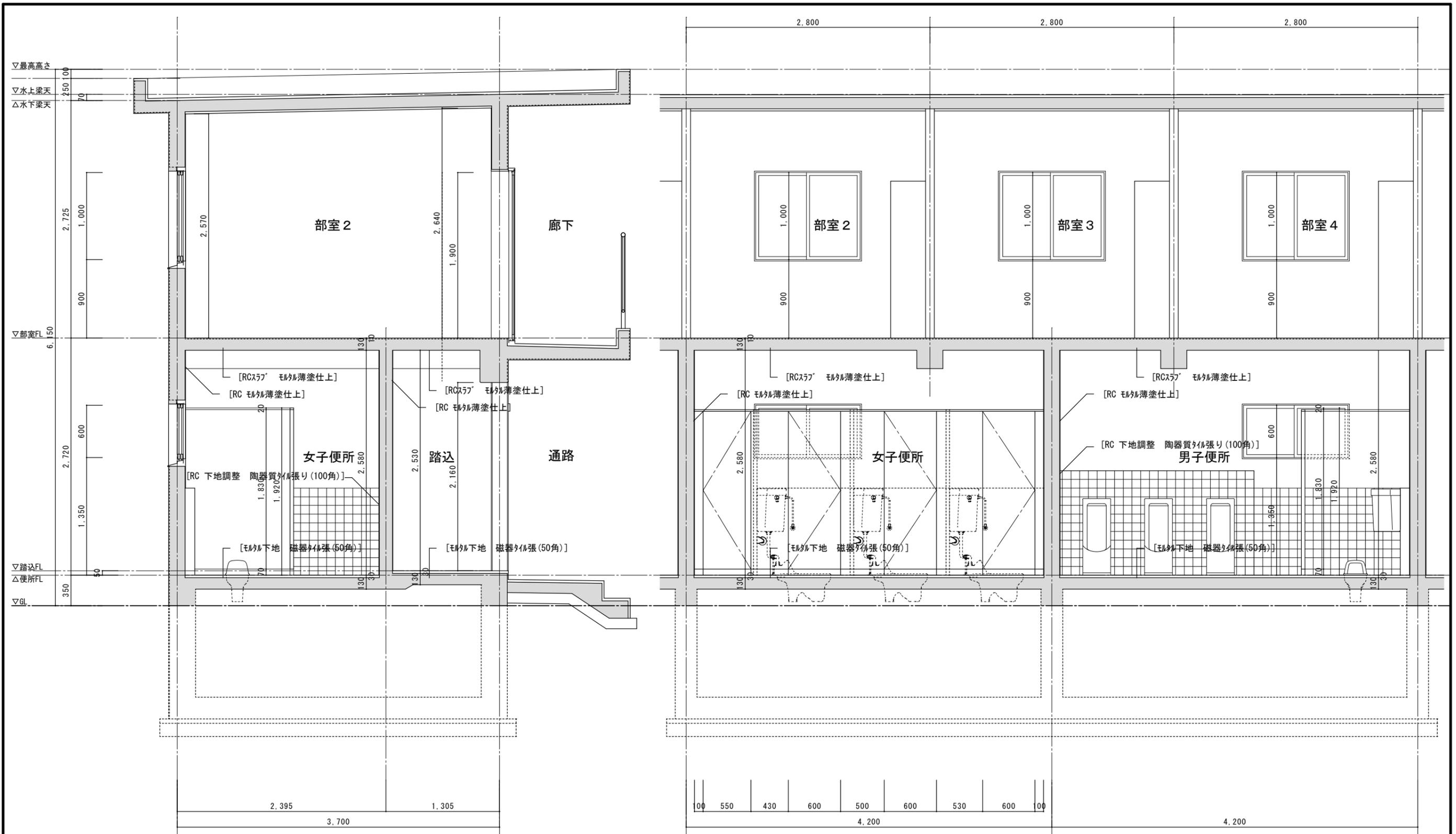
部室 北立面図 1/100



部室 西立面図 1/100



部室 南立面図 1/100



矩計図 1/30

断面詳細図 1/30

※図中 [] 内仕上は既設を示す。
 ※内部仕上の改修は器具撤去後の仕上補修のみとする。

徳島県土整備部営繕課

●工事名 R6宮崎 鳴門高等学校 鳴・養英 研修会館等改修工事建築

●図面番号 A-24

●図面名 矩計図 断面詳細図 (参考図)

●縮尺 A2: 1/30
A3: ×71%

株式会社 平島弘之+ TEAM28
 HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

一級建築士 第15242号 豊山七志

2連紙巻器 取外し
取合補修(再使用)
〈設備工事〉

既設和風大便器 縁撤去、ロータンク共
配管工事後、上部嵩上げ
周囲カッター切、50角磁器タイル撤去(以上設備工事)
50角磁器タイル撤去(≒0.3m²/箇所)
下地モルタル補修共〈建築工事〉

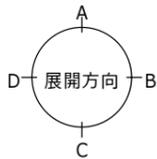
既設ハーフション扉
内開きを外開きに改修
〈建築工事〉

2連紙巻器 取外し
取合補修(再使用)
〈設備工事〉

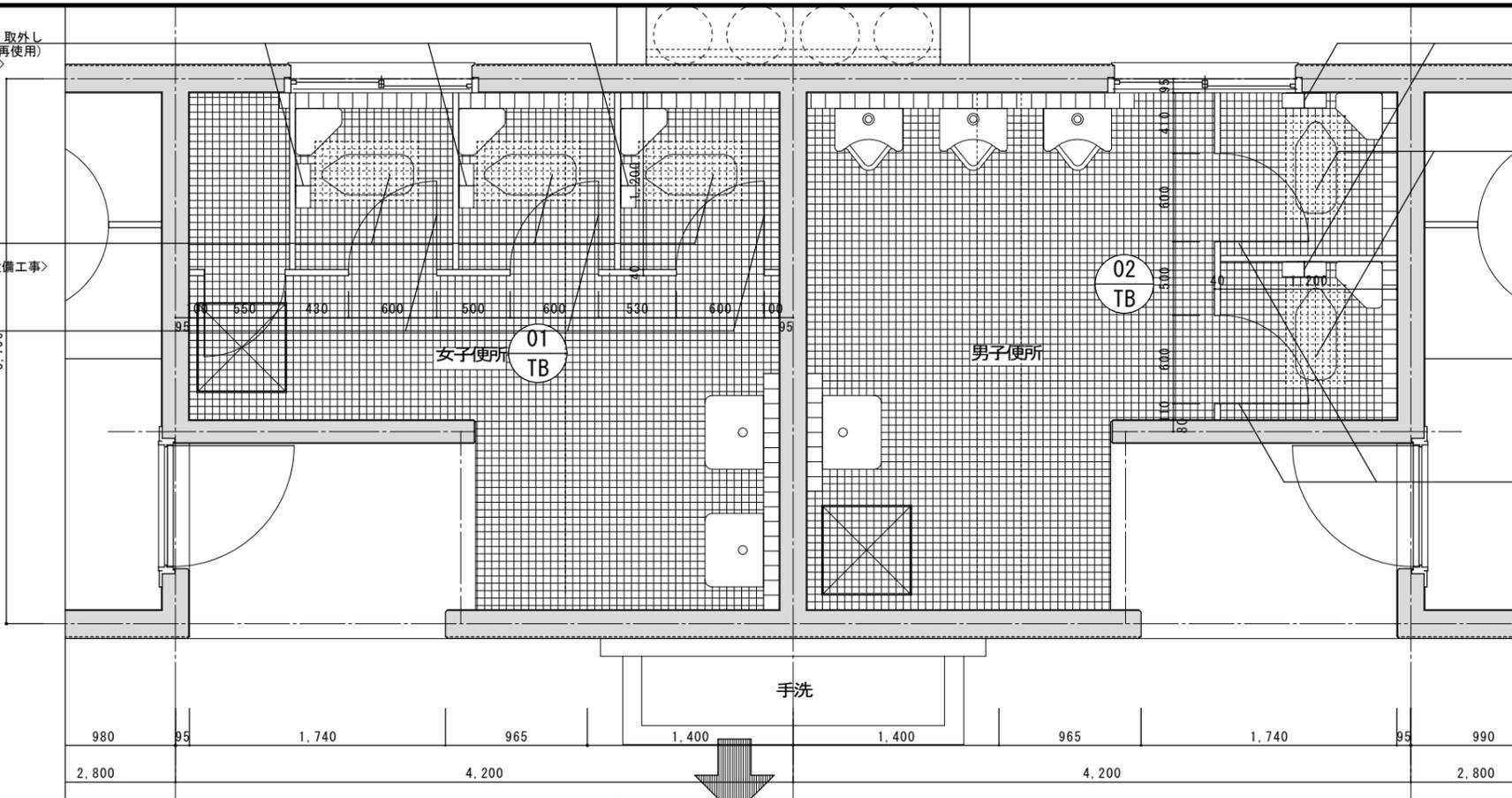
既設和風大便器 縁撤去、ロータンク共
配管工事後、上部嵩上げ
周囲カッター切、50角磁器タイル撤去(以上設備工事)
50角磁器タイル撤去(≒0.3m²/箇所)
下地モルタル補修共〈建築工事〉

既設ハーフション扉
内開きを外開きに改修
〈建築工事〉

女子便所	
天井	[RC57' モルタル薄塗仕上]
壁	[RC モルタル薄塗仕上]
腰壁	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)]
巾木	[陶器質タイル張]
床	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)]



部室 便所平面詳細図 1/30 〈既存〉



男子便所	
天井	[RC57' モルタル薄塗仕上]
壁	[RC モルタル薄塗仕上]
腰壁	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)]
巾木	[陶器質タイル張]
床	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)]

2連紙巻器 再取付
取合補修〈設備工事〉

洋便器 新設
取合補修共〈設備工事〉

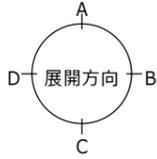
既設ハーフション扉
内開きを外開きに改修
〈建築工事〉

2連紙巻器 再取付
取合補修〈設備工事〉

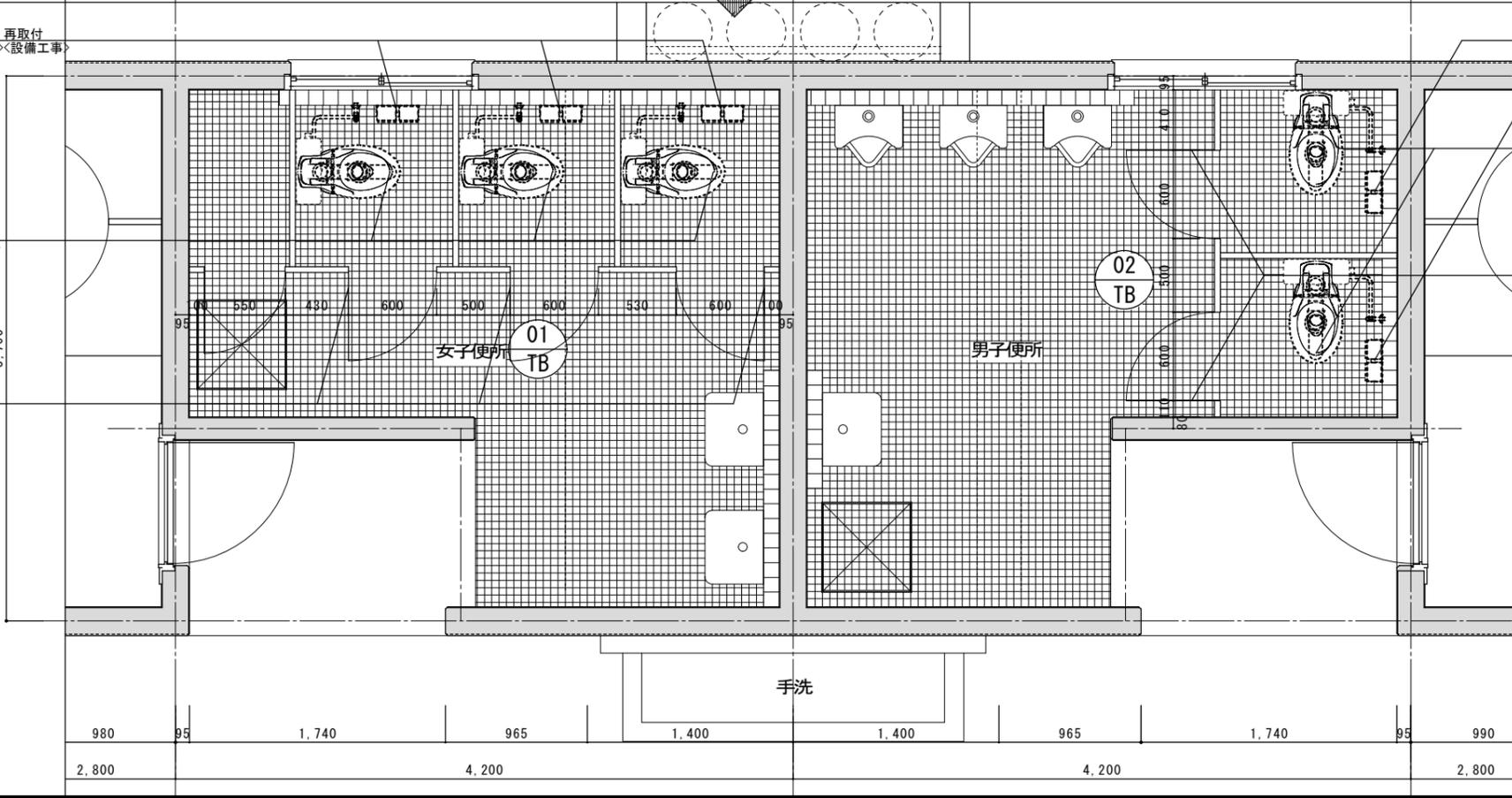
洋便器 新設
取合補修共〈設備工事〉

既設ハーフション扉
内開きを外開きに改修
〈建築工事〉

女子便所	
天井	[RC57' モルタル薄塗仕上] そのまま
壁	[RC モルタル薄塗仕上] そのまま
腰壁	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)] 取合補修
巾木	[陶器質タイル張] 取合補修
床	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)] 取合補修



部室 便所平面詳細図 1/30 〈改修後〉



男子便所	
天井	[RC57' モルタル薄塗仕上] そのまま
壁	[RC モルタル薄塗仕上] そのまま
腰壁	[RC 下地調整 陶器質タイル張り(100角)] 取合補修
巾木	[陶器質タイル張] 取合補修
床	[モルタル下地 磁器タイル張(50角)] 取合補修

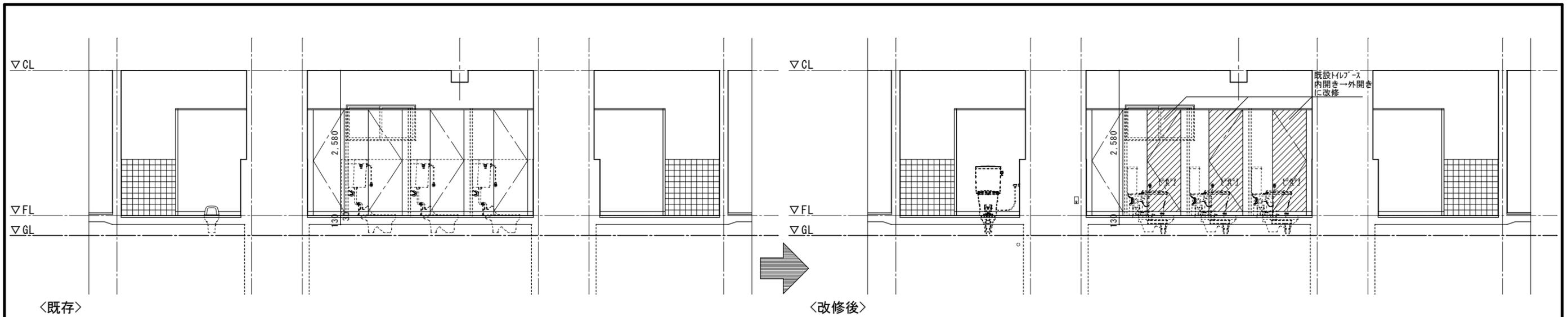
徳島県土整備部営繕課

●工事名 R6 宮崎 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築
●図面名 部室 便所平面詳細図 〈既存〉改修後

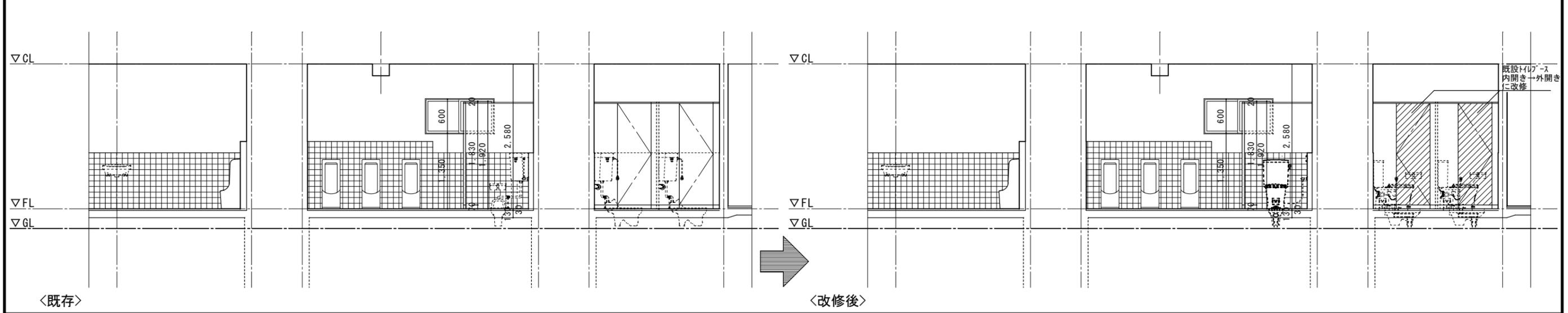
●図面番号 A-25
●縮尺 1/30

株式会社 平島弘之+ TEAM28
HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

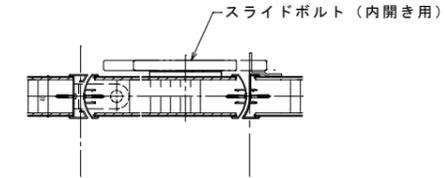
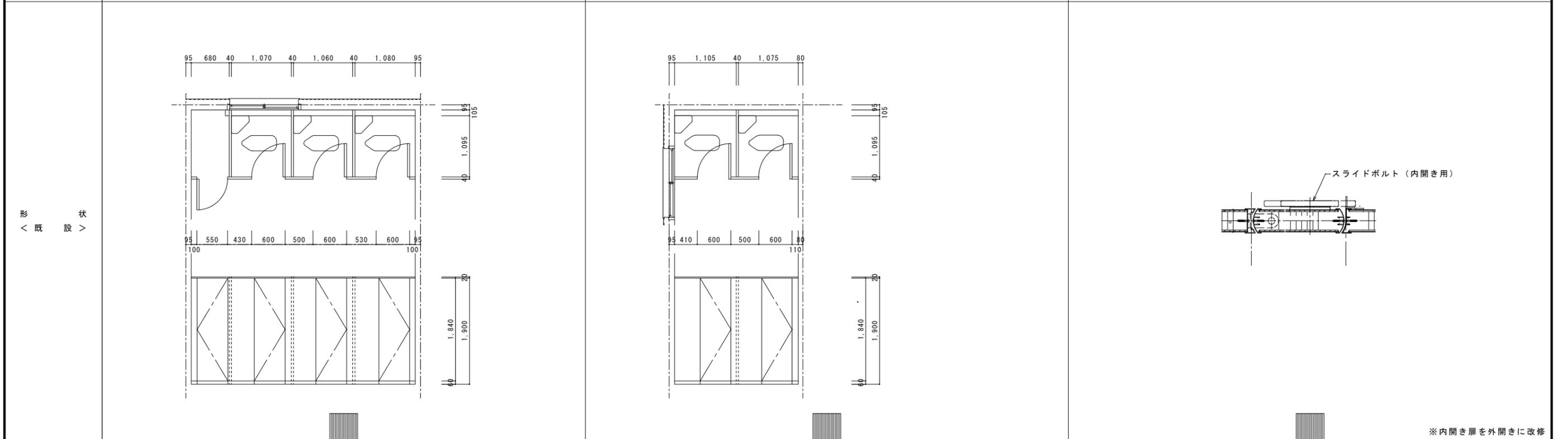
一級建築士 第15242号 豊山七郎



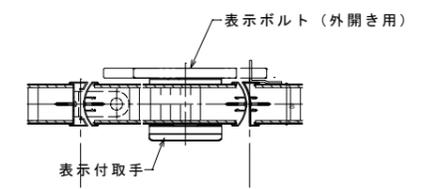
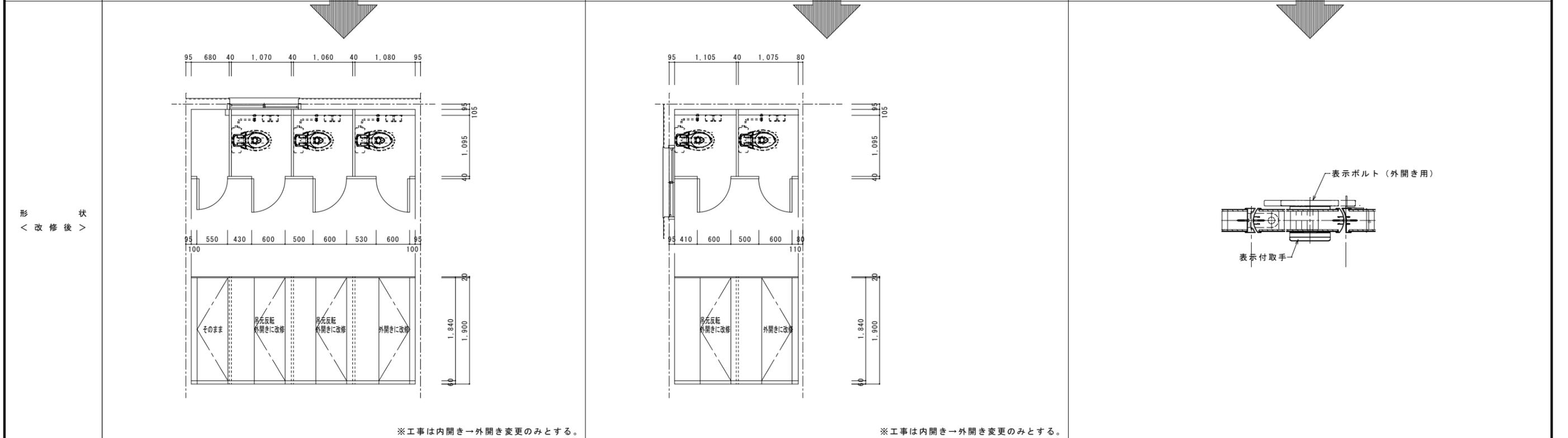
女子便所 (D) (A) (B) (D) (A) (B)



男子便所 (D) (A) (B) (D) (A) (B)



※内開き扉を外開きに改修



形式	[トイレブース]	[トイレブース]
材種・見込	[芯材: へ`ハ`-37] 戸当りエッジ: 取外し、外開き用に取替 40mm	[芯材: へ`ハ`-37] 戸当りエッジ: 取外し、外開き用に取替 40mm
仕上	[メラミン化粧板張]	[メラミン化粧板張]
硝子	-	-
金物	[エッジ: アルミ、ケレビ`ティン` (中心吊り)、ラッチ(表示付き)、戸当り] ラッチ及び戸当り: 外開き用に取替	[エッジ: アルミ、ケレビ`ティン` (中心吊り)、ラッチ(表示付き)、戸当り] ラッチ及び戸当り: 外開き用に取替
備考	[頭繋ぎ: ステンレス 40×20、巾木: ステンレス H=60]	[頭繋ぎ: ステンレス 40×20、巾木: ステンレス H=60]

III. 電気設備工事特記仕様書

1章 一般共通事項

1. 官公署その他への届出手続等

- ① 本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手續などの費用は本工事に含む。官公署その他への届出手続等は（標仕〈1〉 1.1.3）により行う。なお、監理指針〈1〉1.1.3を参考とする。
 - ・家用電気工作物の保安規程（ ・ 本工事に関し定める ○ 既存施設の保安規程を適用（改修・増築等））
 - ・既存施設の保安規程を適用する場合の工事、維持、運用に関する保安業務（ ・ 本工事 ○ 別途 ）
- ② 官公署その他への届出手続等を行うにあたり、届出内容について、あらかじめ監督員に報告する。
- ③ 官公署その他関係機関の検査に必要な資機材及び労務等は本工事で提供する。

2. 養生等

- ① 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
- ② 工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品は次のとおりである。受注者は、注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	
注意事項	

3. 機材の品質等

- ① 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
- ② 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
 - 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
 - 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
 - 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
 - 販売、保守等の営業体制を整えていること。

品 目	機 材 名 ・ 注 記
LED照明器具	一般屋内用に限る
盤類	分電盤（OA盤・実験盤を含む）、制御盤、キュービクル式配電盤 高圧スイッチギヤ（CW形、PW形）
高圧機器	高圧交流遮断器、高圧進相コンデンサ、高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器 高圧変圧器（特定機器）、高圧避雷器
蓄電池	ペント形据置鉛蓄電池、制御弁式据置鉛蓄電池、据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池
交流無停電電源装置	常時インバータ給電方式（定格出力300kVA以下のもの）、ラインインタラクティブ方式 常時商用給電方式、常時インバータ給電方式（簡易型）
太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 ※系統連系保護機能を有するパワーコンディショナを含み、 太陽電池アレイ及び接続箱を除く。
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	簡易形監視制御装置、監視制御装置

- ③ 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- ④ 機材の検査に伴う試験については、標仕〈1〉1.4.5により行う。また、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。

4. 施工調査

- ① 工事の着手に先立ち、実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。
- ② 工事の施工に先立ち、工事関連部分の事前調査（支障物件の調査・確認を含む）及び工事関係者（施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等）との事前打合せを実施し、その結果を監督員に報告する。

2章 共通工事・関連工事

1. 耐震施工（参考図書：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版））

- ① 設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。なお、施工に先立ち、耐震計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
 - ・設計用水平地震力
 - 機器の重量（kN）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、設計用標準水平震度は、特記なき場合は下表による。
 - ・設計用鉛直地震力
 - 設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
 - ・施設の種類、地域係数
 - ・施設の種類（ ○ 特定の施設 ・ 一般の施設 ） ・ 地域係数（ ○ 1.0 ・ 0.9 ）
 - ・重要機器
 - ・配電盤 ・ 防災用発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機
 - ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 構内情報通信網装置 ・

設計用標準水平震度	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋		機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
		防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
		水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階		機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
		防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階		機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
		防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

（注） ・ 上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
・ 水槽類にはオイルタンク等を含む。

- ② 質量100kg以下の軽量な機器（標仕の適用を受けるものは除く）の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。
- ③ 横引き配管等の耐震支持は、施設の種類に応じたものとする。

2. あと施工アンカー

あと施工アンカーボルトの選定については、次による。

- ① 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、重要機器及び次の機器については、施工後確認試験を行う。
（ ・ ・ ・ ）
 - ・ 試験方法 引張試験機による引張試験とし、確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
 - ・ 試験箇所数 1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抜き取る。
- ② 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
- ③ 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。

3. 非破壊検査

- ① はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり、埋設物の事前調査を行い、監督員に報告すること。
- ② 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。なお、探査の結果、放射線透過検査を必要とする場合については、監督員と協議の上、適切に対応するものとする。

4. 接地工事

接地極の材料は下表による。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。

接地極の種類	記号	接地抵抗値	接地極の材料（寸法mm）
・ 共同接地（A・C・D種）	EA・C・D	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
・ 共同接地（A・B・C・D種）	EA・B・C・D	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
・ A種	EA	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
・ B種	EB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2連—2組
・ C種	EC	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
○ D種	ED	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ ELCB用	EELCB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 雷保護用	ELA	Ω以下	・ EP—0.6×2 ・ EB（D=14又はW=40）× 連— 組
・ 高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
・ 交換機隔離用	Et	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—1組
・ 本配線盤保安装置用	EAt	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連—2組
・ 拡声増幅器用	EDt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 各種通信機器用	EDa	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 保安器用	ELt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 測定用補助	EO	—	EB（D=14又はW=30）×1

（備考） EBの長さは、D=14の場合は1,500、W=30の場合は900、W=40の場合は1,200とする。
接地極の埋設位置には、屋外灯のポール等で埋設位置が明確な場合を除いて接地極埋設標を設ける。

5. その他共通事項

- ① 配管工事
 - ・最上階の天井配管は、原則二重天井内のいんべい施工とし、屋上スラブへの埋め込みは行わない。（最上階が二重天井の場合に限る。）
 - ・長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。（標仕<2>2.2.9、<2>2.12.4）
 - ・屋外の金属製防水形プルボックスは、（ ○ ステンレス製 ・ 鋼板製 ）とし、（ ・ メラミン焼付塗装 ・ 溶融亜鉛めっき ○ 無塗装 ）とする。
 - ・屋外布設の厚鋼電線管は、めっき付着量が300g/m2のものを使用し、原則塗装不要とする。
- ② 配線工事
 - ・高圧ケーブルの種類（EM-高圧架橋ポリエチレンケーブル）は、JCS 4395「6,600V架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。
- ③ 塗装工事
 - ・次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。（ ○ 一般居室、廊下等 ・ ）
 - ・屋内、屋外及びビット内の支持金物等のうち、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装不要とする。
- ④ 配線器具
 - ・図面に記載なきフラッシュプレートの材質は、（ ○ 新金属製 ・ 樹脂製 ）とする。
- ⑤ 支持金物等
 - ・屋外及びビット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
- ⑥ 用途別表示
 - ・盤内、幹線プルボックス内、ケーブルラック上の要所、マンホール・ハンドホール内、その他の要所には合成樹脂製、ファイバ製等の表示札等を取付け、回路の種類、行先等を表示する。（標仕 <2>2.2.10、<2>2.12.5）
 - なお、屋外において直接外気に触れる場所（盤内、プルボックス内を除く。）及びマンホール・ハンドホール内の表示札等はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
 - ・カバープレート及びプルボックス蓋にはシール等で用途別表示を行う。なお、屋外部分の表示はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
- ⑦ その他
 - ・分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。
 - ・分電盤からの予備配管として、分電盤の予備回路数（スペースを含む）に応じた配管を天井裏まで立上げる。
 - ・改修又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は、工事着手前及び工事完了後に既設配線の絶縁抵抗を測定する。
 - ・家用電気工作物の保安規程に基づき、電気主任技術者による工事中の点検並びに工事完成時の検査を実施し、成績書を提出する。

3章 電灯設備

1. LED照明器具

LEDモジュールの光源色は、監督員との協議により、標準図に規定する光源色を変更できる。ただし、非常照明用及び誘導灯用を除く。

2. 照明制御の照度測定

明るさセンサにより照明制御を行う室は、照度を測定し、測定表を監督員に提出する。なお、明るさセンサの設定は、監督員の指示による。
・照度測定時期 100%点灯時（ ○ 夜間 ・ 昼間 ） 調光制御点灯時（ ・ 夜間 ・ 昼間 ）

3. 照明制御設定器

附属数（ ・ 1個 ・ 個 ）

4. 事前確認・施工後確認

- ・改修前の（ ・ 照明回路 ・ ）について、使用電力量の測定を行う。
- ・改修後の（ ・ 照明回路 ・ ）について、使用電力量の測定を行う。

4章 その他

1. 機器取付高さ

次表を標準とする。ただし、天井高がFL+3,000以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は、監督員と協議する。

名 称	測点	取付高(mm)	備 考
【電灯】			
分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900以下とする
スイッチ	床上～中心	1,300	
コンセント（一般）	床上～中心	300	
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	
＃（鏡上）	鏡上端～中心	150	
多機能便所スイッチ	床上～中心	1,100	

2. 配線図記号

- (1) EM-EEFケーブルにて、4芯以上の配線を布設する場合、全部又は一部に4芯のものを使用しても差し支えない。
- (2) 図面に明記なき配管は次のとおりとする。
(G16) (G22) …… 厚鋼電線管（JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの）を示す。
(16) (22) …… PF管（単層管）（JIS C 8411「合成樹脂製可とう電線管」によるもの）を示す。
(19) (25) …… ねじなし電線管（JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの）を示す。
- (3) EM電線及びEMケーブルの表記において、「EM」が省略されている場合は、「EM」付きの表記のものに読み替える。

特 記

<p>徳島県東土整備部営繕課</p>	<p>工事名称</p> <p>R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴 ・ 撫養 研修会館等改修工事建築</p>	<p>図面番号</p> <p>E - 1</p>	<p>max</p> <p>Urban Consultant</p> <p>株 式 会 社 マ ッ ク ス 設 計</p>	<p>〒779-3610</p> <p>徳島県美馬市脇町大字脇町705-2</p>
	<p>図名</p> <p>電気設備工事特記仕様書(1)</p>	<p>縮尺</p> <p>A2 NON</p> <p>A3 NON</p>	<p>大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号</p> <p>一級建築士 田 淵 宏 樹</p>	<p>TEL0883(52)0574 FAX(53)9840</p>

凡例

記号	名称	規格・仕様・摘要
●	埋込型スイッチ	1P15A300V 取付枠 新金属プレート共
●L	埋込型ランプ付ネームスイッチ	1P4A300V 取付枠 新金属プレート共
▽ _M	熱線センサー付自動スイッチ	天井埋込形親機 広角検知形 明るさセンサ付 8A 100V 動作約10秒~30分可変形 Panasonic:WTK24818 相当
▽ _S	熱線センサー付自動スイッチ	天井埋込形子機 広角検知形 DC12V Panasonic:WTK29129 相当
▽ _{SF}	熱線センサー付自動スイッチ	天井埋込形子機 換気扇連動 1A 100V 動作時間検知後約10秒~30分可変形 Panasonic:WTK29318 相当
●SL	埋込型スイッチ(照明・換気用)	切替-1P15A250V×2 [連続-自動-切] 新金属プレート共 Panasonic:WTC5822W 相当
□	別途工事リモコン及びスイッチ等	空調及び換気 衛生のリモコンスイッチ位置を示し、配管(PF16)やアウトレットボックスを電気工事に含むものとする。
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A125V×1 取付枠 新金属プレート共
Ⓜ ₂	埋込コンセント	2P15A125V×2 取付枠 新金属プレート共
Ⓜ _{EET}	埋込コンセント	2P15A125V×1 接地極 アースターミナル 取付枠 新金属プレート共
Ⓜ _{ZEET}	埋込コンセント	2P15A125V×2 接地極 アースターミナル 取付枠 新金属プレート共
Ⓜ _{FD}	防水コンセント(抜止)	2P15A125V×2 接地極 アースターミナル共 Panasonic:WK4106 相当
K-○K	カバープレート(壁・天井)	新金属プレート
◎	ノズルプレート(壁・天井)	新金属プレート
◎ _{FD}	防雨入線カバー	埋込・露出両用
□ _□	位置BOX類	アウトレットボックス スイッチボックス コンクリートボックス 露出ボックス等
↕	立ち上げ及び立ち下げ	
↓	接地工事	接地種別は図示による
■	電灯盤	

記号	名称	規格・仕様・摘要	図面番号	縮尺
D05	LED ダウンライト φ100 LRS1-05 LN	ダウンライトXND0631WN LE9 白熱灯 60形×1 器具相当 昼白色:5,000K、Ra85 拡散タイプ 集積型LED<ワンコア(ひと粒)タイプ		
				
		ボルト:100~242V (4.6W) 反射板:上 プラスチック(ホワイト) :下 鋼板(ホワイトつや消し) 枠: 鋼板(ホワイトつや消し)		
*A	直付灯 W230 直付 XLX460DENP LE9	*B 直付灯 防雨防湿型 W230 直付 XLW463DENZ LE9	*E 浴室灯 防湿型 NNFW42500K LE9	*G 直付灯 W150 直付 XLX430AENP LE9
	※既設照明具の取外し再取付	※既設照明具の取外し再取付	※既設照明具の取外し再取付	※既設照明具の取外し再取付
				
*K	直付下面開放型(埋込兼用) 直付 XLX110AEN AE9	*M 壁付灯 防雨防湿型 NNFW21800K LE9	*N 非常用照明器具 埋込型 LEDEM13221M	
	※既設照明具の取外し再取付	※既設照明具の取外し再取付	※既設照明具の取外し学校への引渡迄	
				

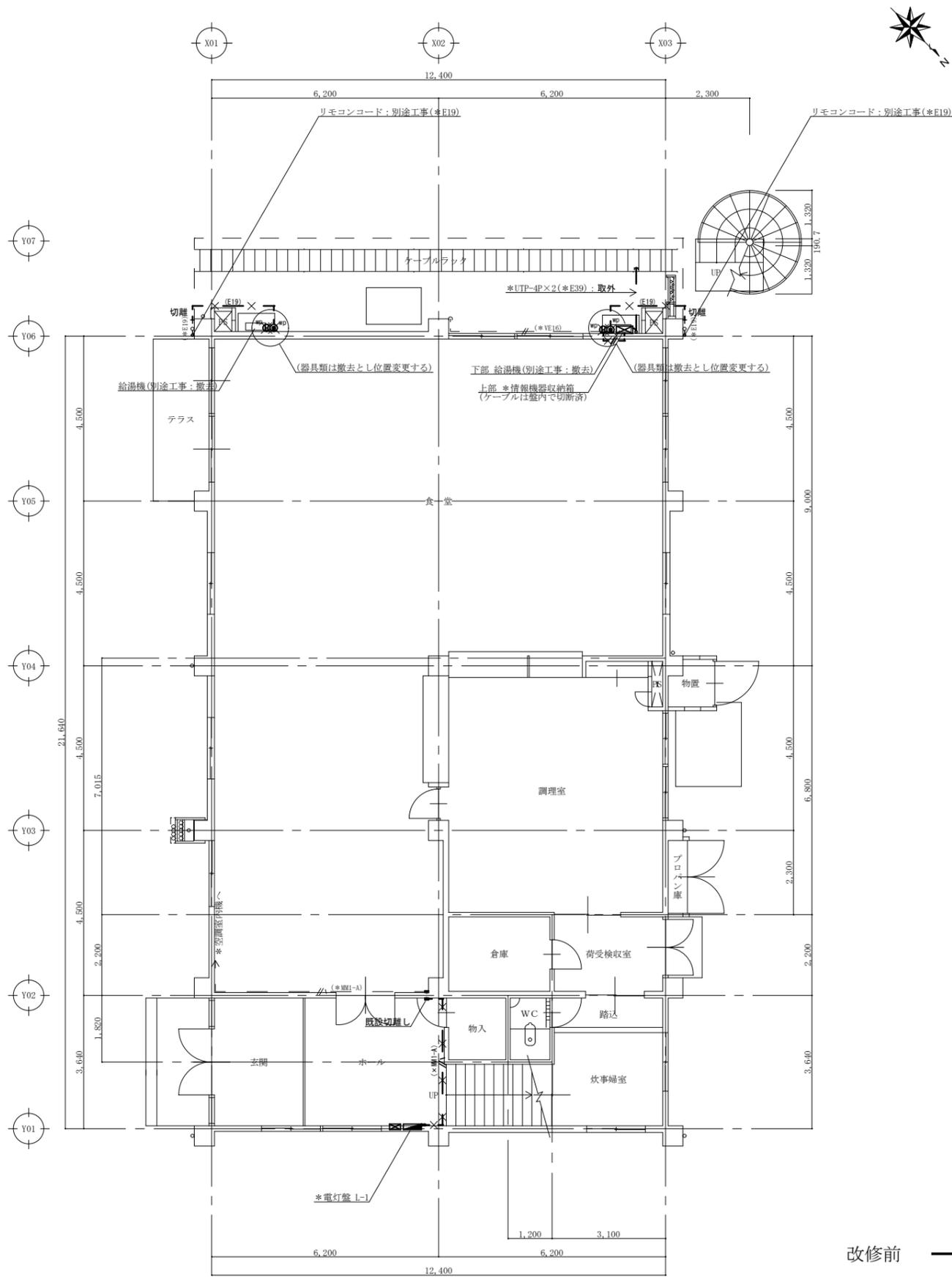
既存動力盤 単線結線図 [改修前]

盤名称 形式 仕様 階数 設置場所	回路区分 電気方式 容量合計 番号 一次配線	盤内結線	負荷番号	負荷名称	電圧 (V)	負荷容量				開閉器		二次側配線	備考	
						(R-N)	(T-N)	(R-T)	TOTAL	配線保護 種数	漏電保護 種数			AF
改造 *電灯盤 L-1 屋内埋込形 1F ホール 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *VVR 22sq-3c	T X	101	主幹	200/100					M	3	100	75	
				*電灯盤 L-2 送り	200/100									*IV 14sq×3
				既設負荷	200					M	2	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					E	2	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
改造 *電灯盤 L-2 屋内埋込形 2F 研修室 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *IV 14sq×3	T X	201	*電灯盤 L-3 送り	200/100									*IV5.5sq×3
				主幹	200/100					M	3	100	50	
				既設負荷	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
改造 *電灯盤 L-3 屋内埋込形 3F 大会議室踏込 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *IV5.5sq×3	T X	301	既設負荷	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
				"	200					M	2	50	20	

既存動力盤 単線結線図 [改修後]

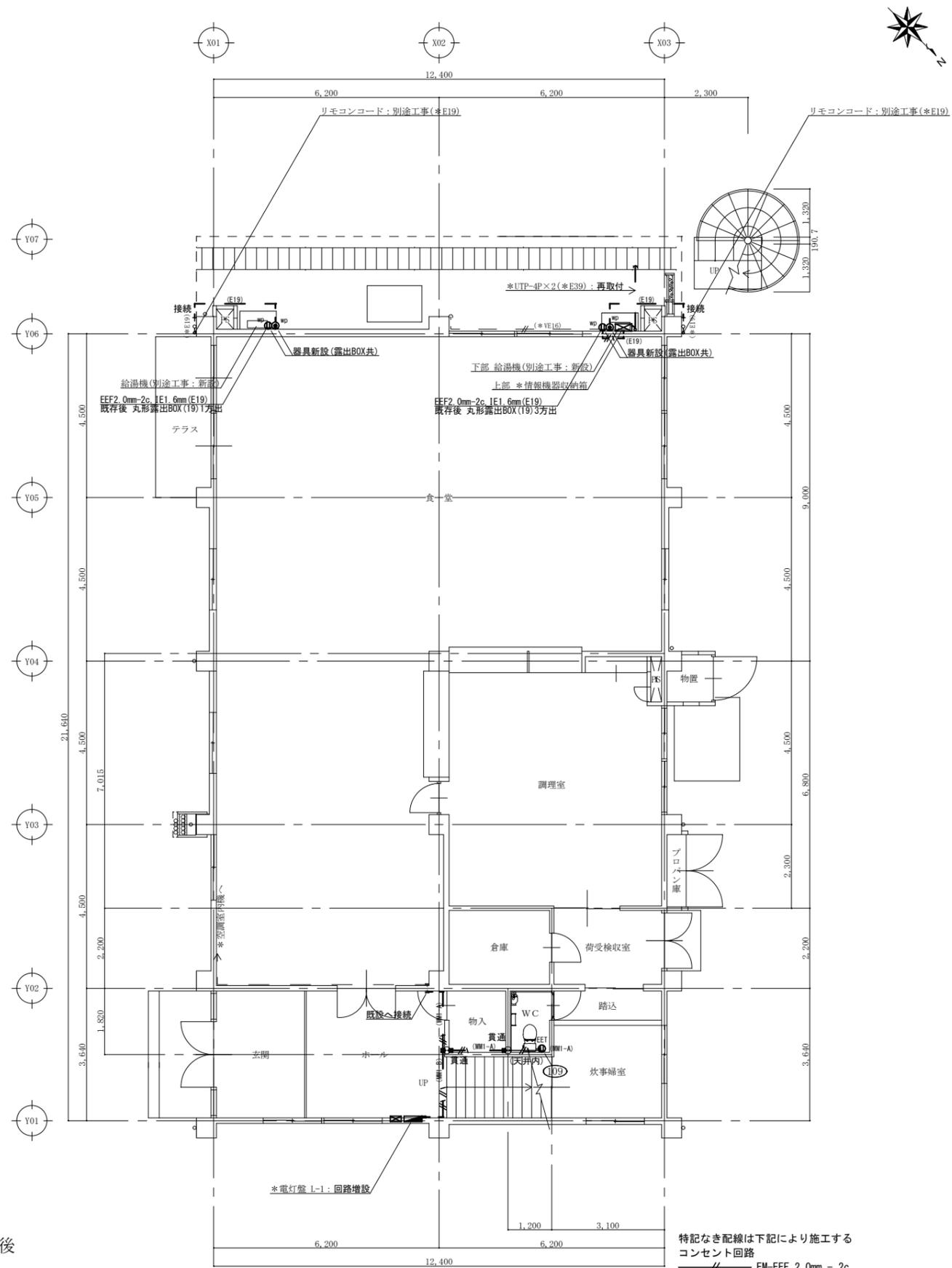
盤名称 形式 仕様 階数 設置場所	回路区分 電気方式 容量合計 番号 一次配線	盤内結線	負荷番号	負荷名称	電圧 (V)	負荷容量				開閉器		二次側配線	備考	
						(R-N)	(T-N)	(R-T)	TOTAL	配線保護 種数	漏電保護 種数			AF
改造 *電灯盤 L-1 屋内埋込形 1F ホール 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *VVR 22sq-3c	T X	101	主幹	200/100					M	3	100	75	
				*電灯盤 L-2 送り	200/100									*IV 14sq×3
				既設負荷	200					M	2	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					E	2	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
改造 *電灯盤 L-2 屋内埋込形 2F 研修室 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *IV 14sq×3	T X	201	*電灯盤 L-3 送り	200/100									*IV5.5sq×3
				主幹	200/100					M	3	100	50	
				コンセント 男子シャワーWC	100	109				E	2	50	20	開閉器増設 中扉開口共
				コンセント 女子シャワーWC	100		159			E	2	50	20	"
				既設負荷	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
改造 *電灯盤 L-3 屋内埋込形 3F 大会議室踏込 銅板製	一般電灯 1φ3W 200/100V — kVA *IV5.5sq×3	T X	301	コンセント 男子WC	100	56				E	2	50	20	開閉器増設 中扉開口共
				コンセント 女子WC	100		106			E	2	50	20	"
				既設負荷	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	100					M	1	50	20	
				"	200					M	2	50	20	
				"	200					M	2	50	20	

改修前 → 改修後



1階平面図 S=1/100 (改修前)

改修前 → 改修後

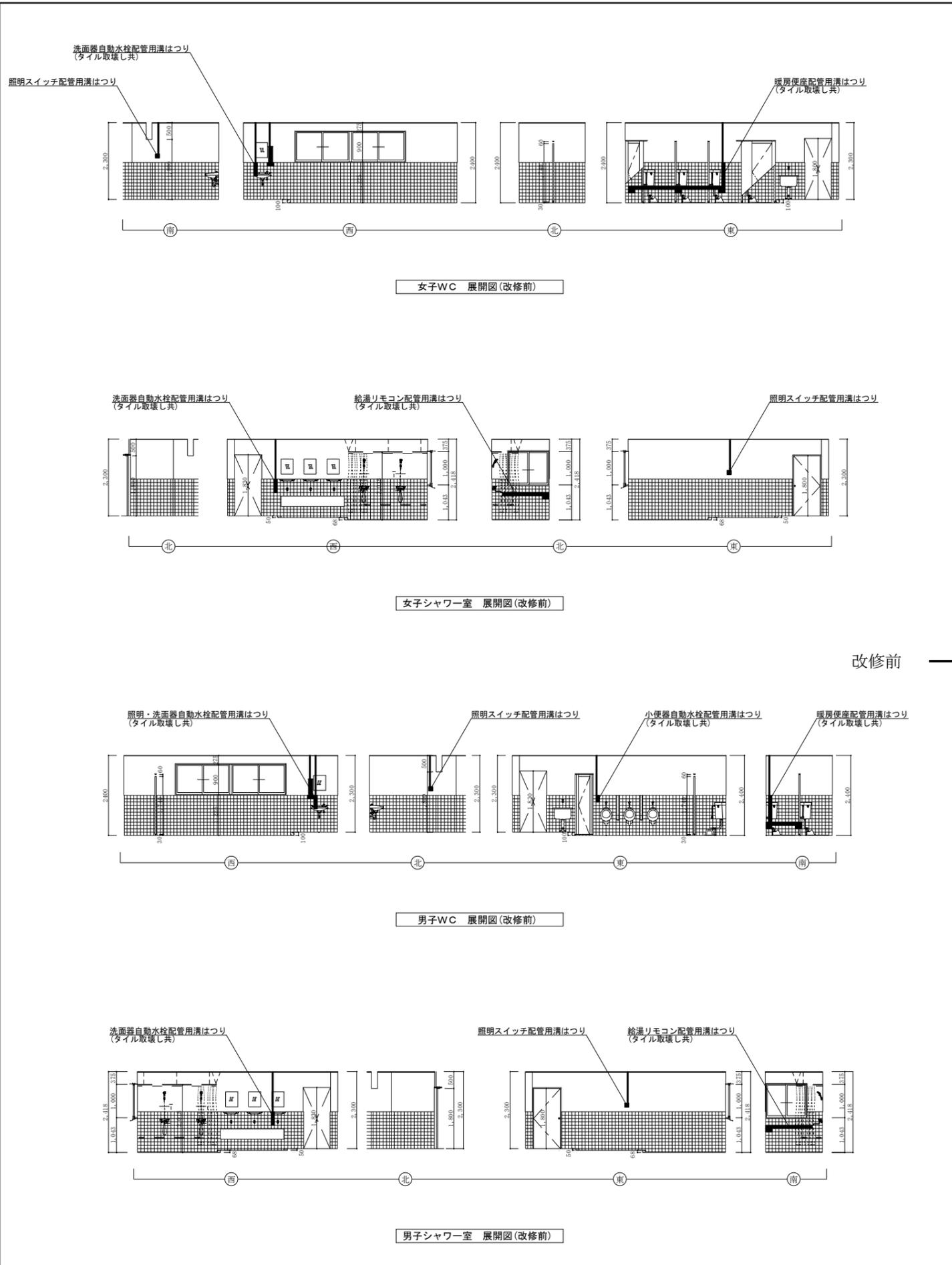


1階平面図 S=1/100 (改修後)

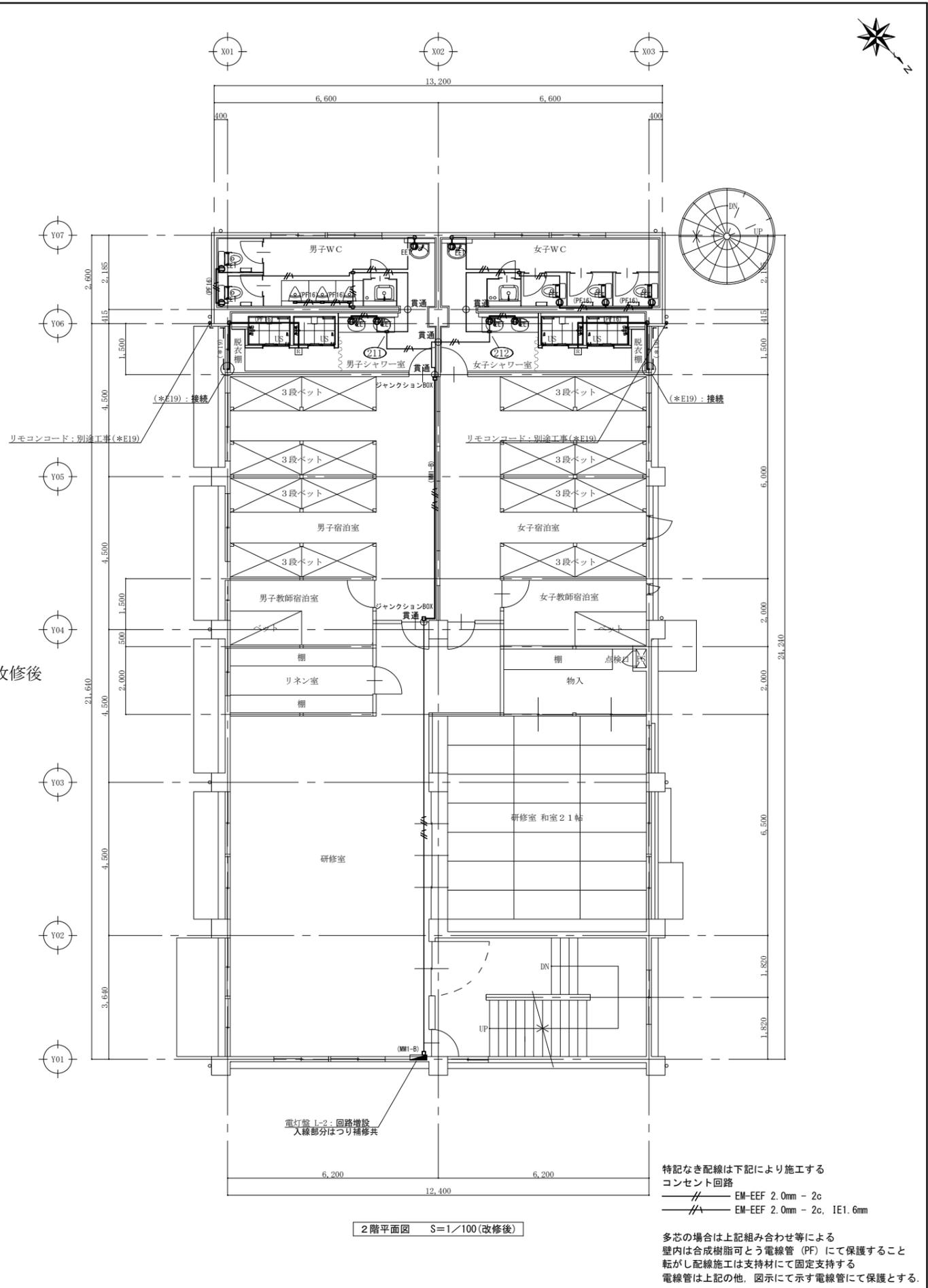
特記なき配線は下記により施工する
コンセント回路
 // EM-EFF 2.0mm - 2c
 // IE1 EM-EFF 2.0mm - 2c, IE1.6mm

多芯の場合は上記組み合わせ等による
壁内は合成樹脂可とう電線管 (PF) にて保護すること
転がし配線施工は支持材にて固定支持する
電線管は上記の他、図示にて示す電線管にて保護とする。

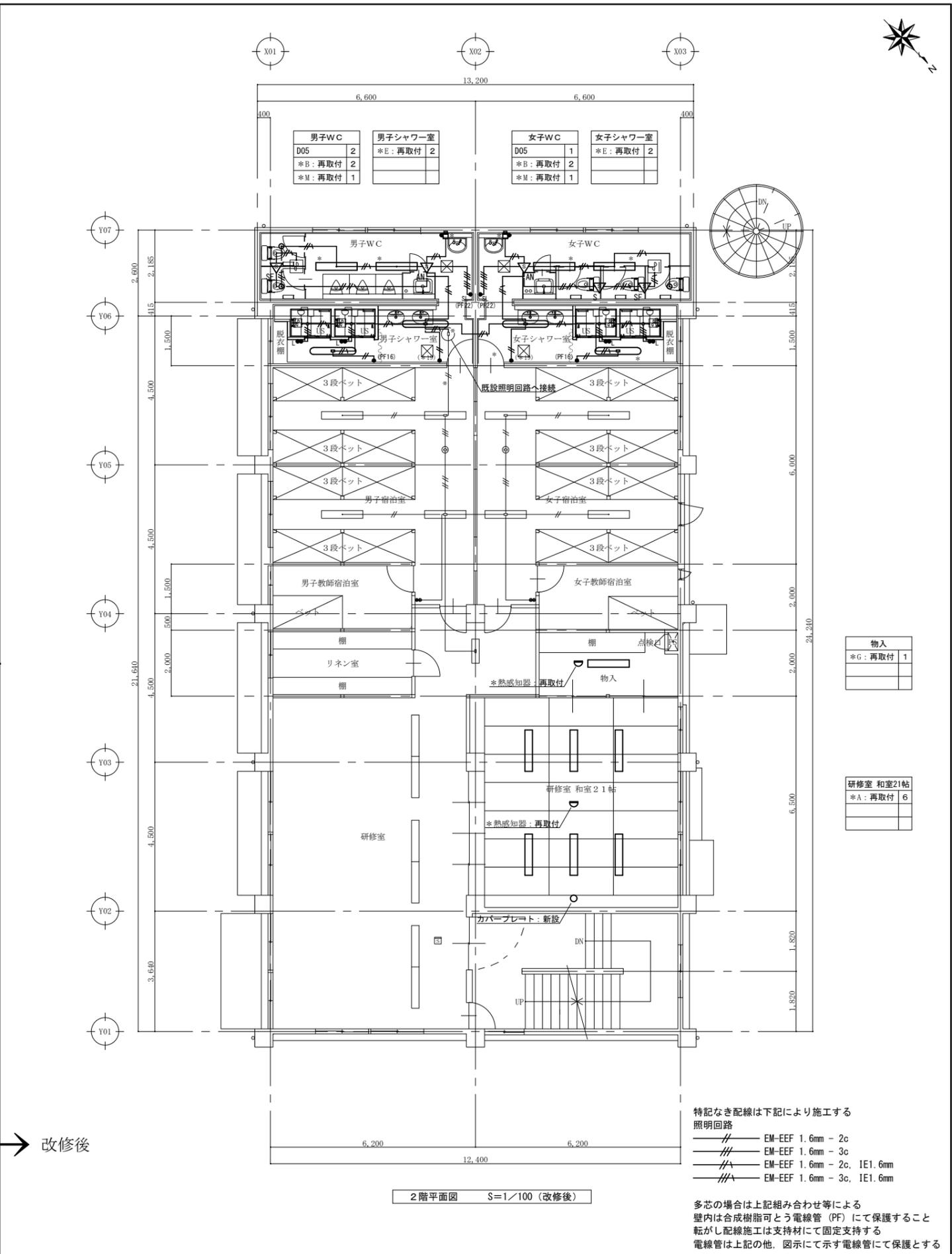
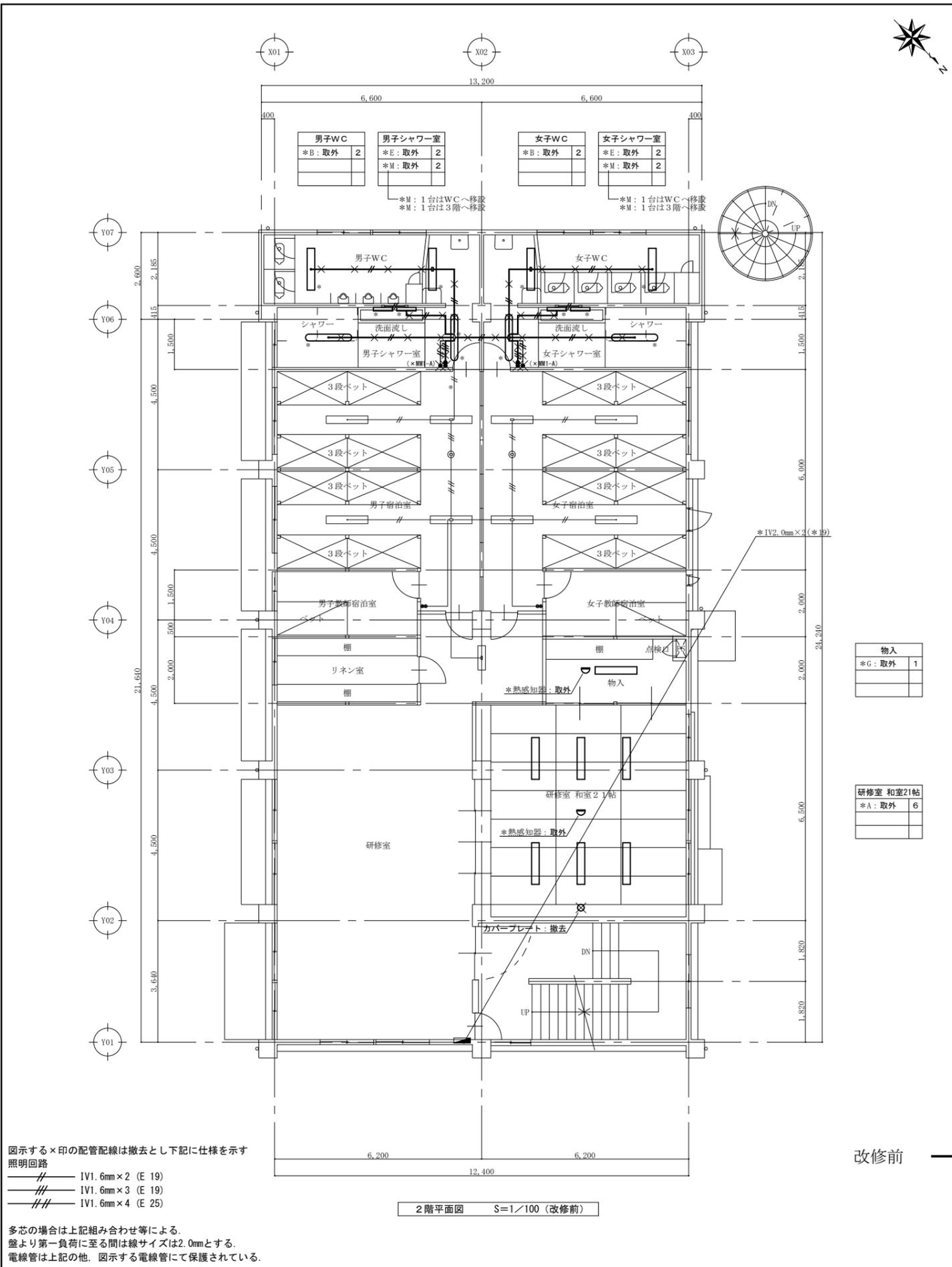
特記 図中に示す電気設備の *印 は現況品、又は既存品を示す。 図中に示す電気設備の ×印 は既設品の撤去工事を示す。	工事名称 R6 宮緒 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 図名 コンセント設備 1階平面図 (改修前・改修後)	図面番号 E - 4	max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 大庄登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 淵 宏 樹 TEL0883 (52) 0574 FAX (53) 9840
		縮尺 A2 1/100 A3 1/141	



改修前 → 改修後

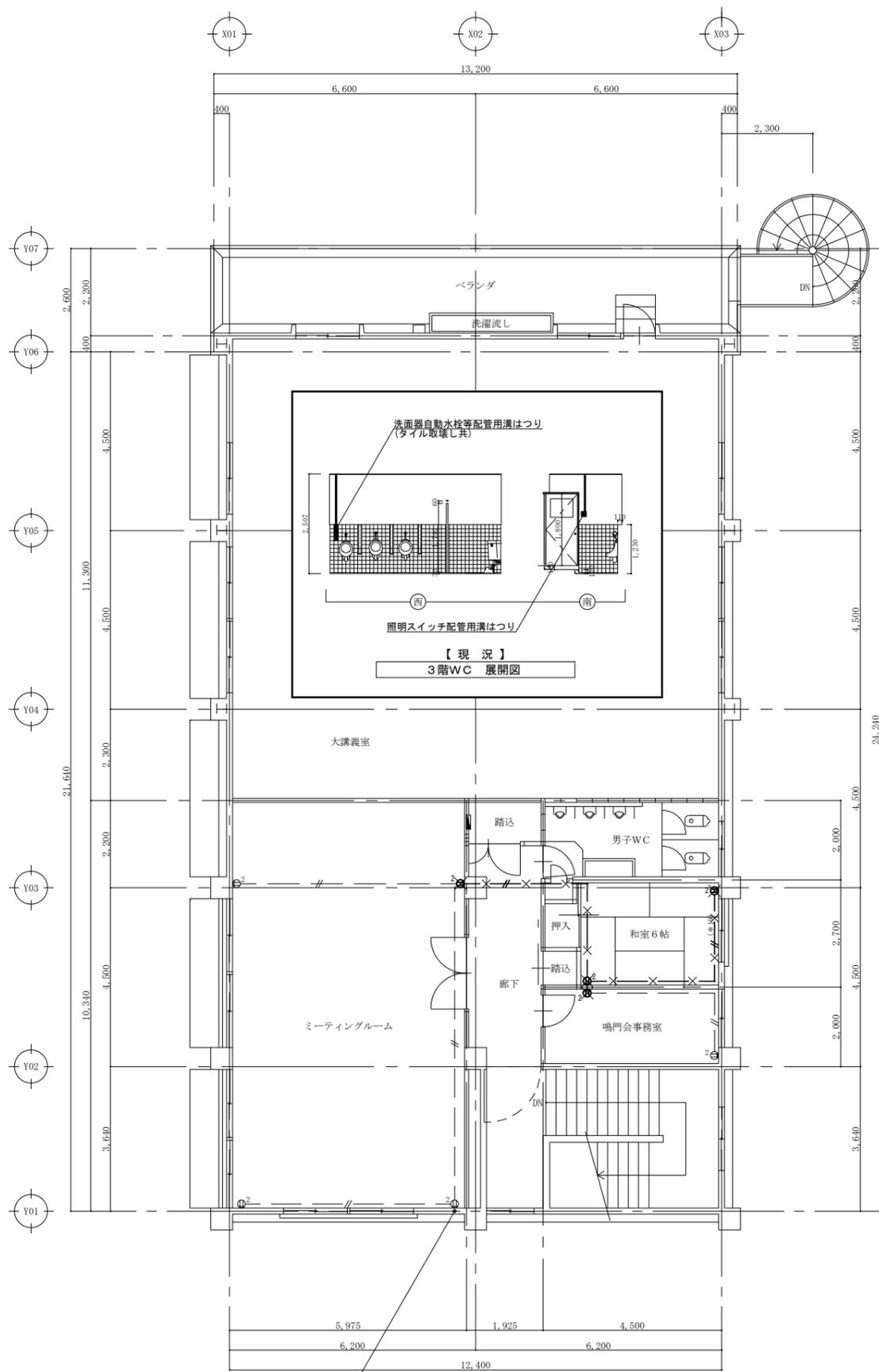


特記 図中に示す電気設備の *印 は現況品、又は既存品を示す。 図中に示す電気設備の ×印 は既設品の撤去工事を示す。	工事名称 R6 宮緒 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築	図面番号 E - 5	max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 大匠登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 淵 宏 樹	〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883 (52) 0574 FAX (53) 9840



改修前 → 改修後

特記 図中に示す電気設備の*印は現況品、又は既存品を示す。 図中に示す電気設備の×印は既設品の撤去工事を示す。	工事名称 R6宮緒 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築	図面番号 E-6	max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840



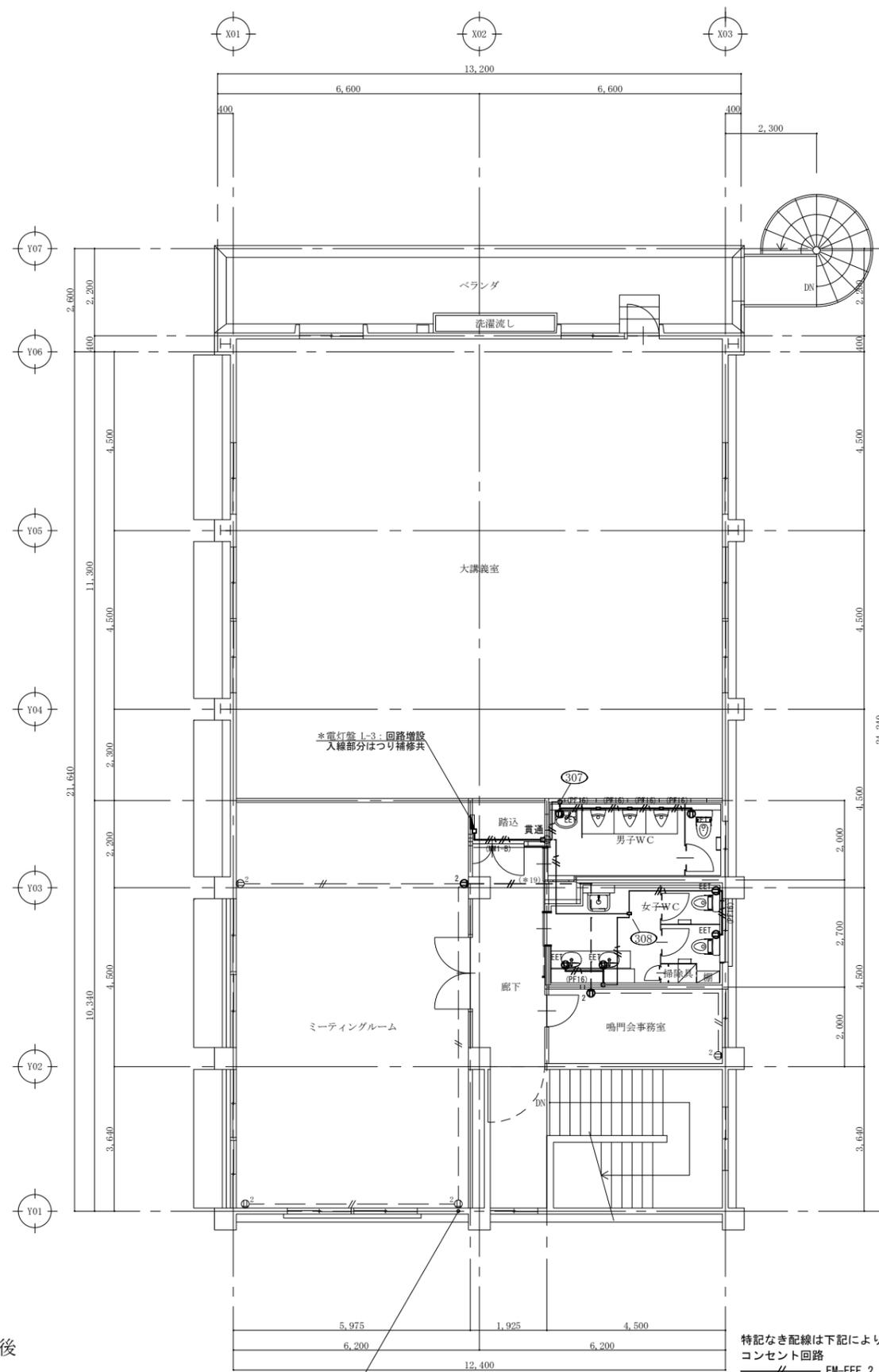
図示する×印の配管配線は撤去とし下記に仕様を示す
コンセント回路
// IV2.0mm×2 (E 19)

電線管は上記の他、図示する電線管にて保護されている。

特記
図中に示す電気設備の *印 は現況品、又は既存品を示す。
図中に示す電気設備の ×印 は既設品の撤去工事を示す。

*IV2.0mm×2(*19) 3階平面図 S=1/100 (改修前)

改修前 → 改修後

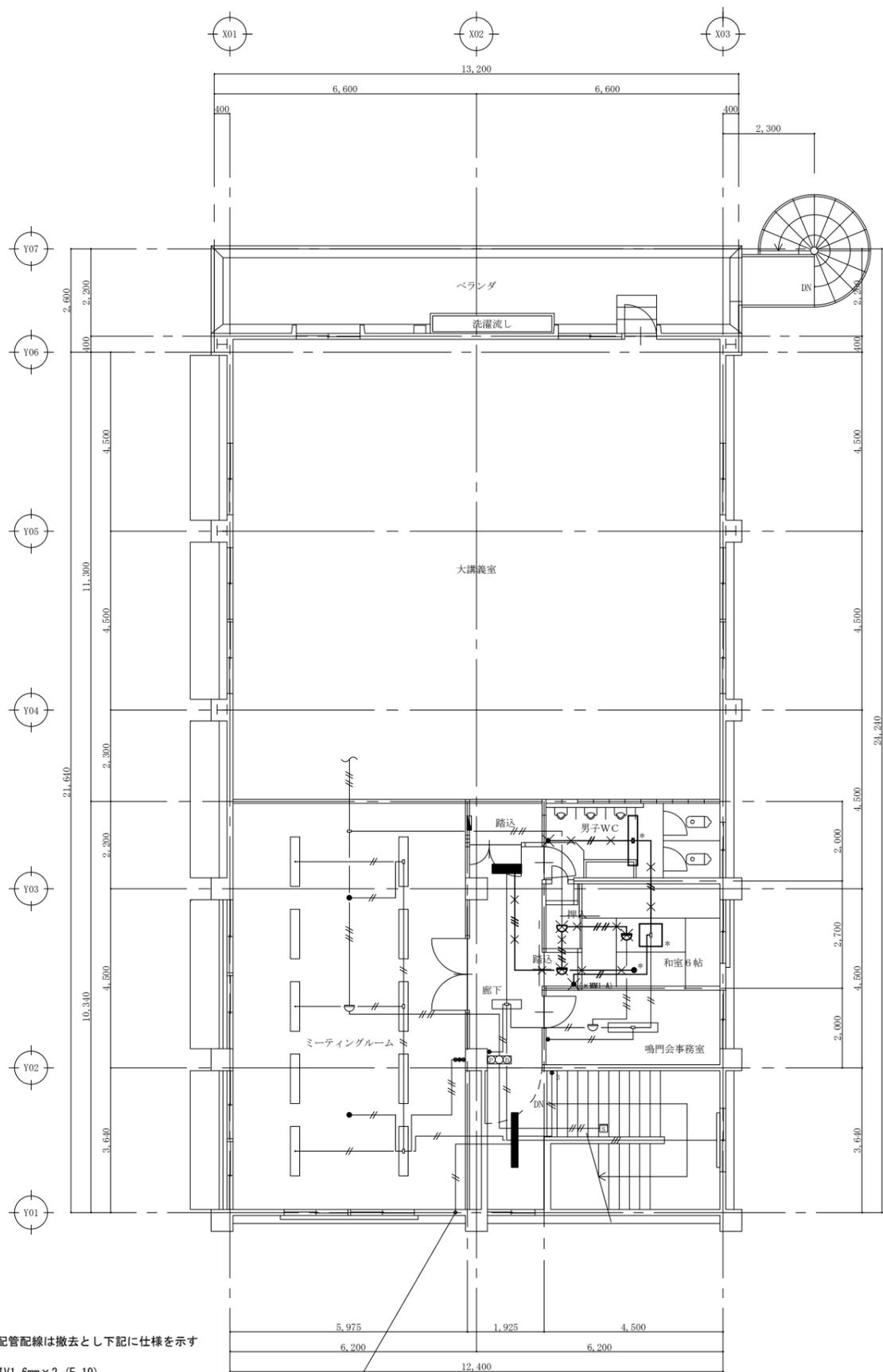


*IV2.0mm×2(*19) 3階平面図 S=1/100 (改修後)

特記なき配線は下記により施工する
コンセント回路
// EM-EFF 2.0mm - 2c
// EM-EFF 2.0mm - 2c, IE1.6mm

多芯の場合は上記組み合わせ等による
壁内は合成樹脂可とう電線管 (PF) にて保護すること
転がし配線施工は支持材にて固定支持する
電線管は上記の他、図示にて示す電線管にて保護とする。

特記 図中に示す電気設備の *印 は現況品、又は既存品を示す。 図中に示す電気設備の ×印 は既設品の撤去工事を示す。	徳島県土整備部営繕課	工事名称 R6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築	図面番号 E - 7	max 株式会社 マックス設計 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
		図名 コンセント設備 3階平面図 (改修前・改修後)	縮尺 A2 1/100 A3 1/141	



男子WC	
*B: 取外	1
和室6帖	
*K: 取外	1
*N: 取外	1
*N: 学校側へ引渡し	

図示する×印の配管配線は撤去とし下記に仕様を示す照明回路

- IV1.6mm×2 (E 19)
- IV1.6mm×3 (E 19)
- IV1.6mm×4 (E 25)

多芯の場合は上記組み合わせ等による。
盤より第一負荷に至る間は線サイズは2.0mmとする。
電線管は上記の他、図示する電線管にて保護されている。

特記
図中に示す電気設備の *印 は現況品、又は既存品を示す。
図中に示す電気設備の ×印 は既設品の撤去工事を示す。

徳島県県土整備部営繕課

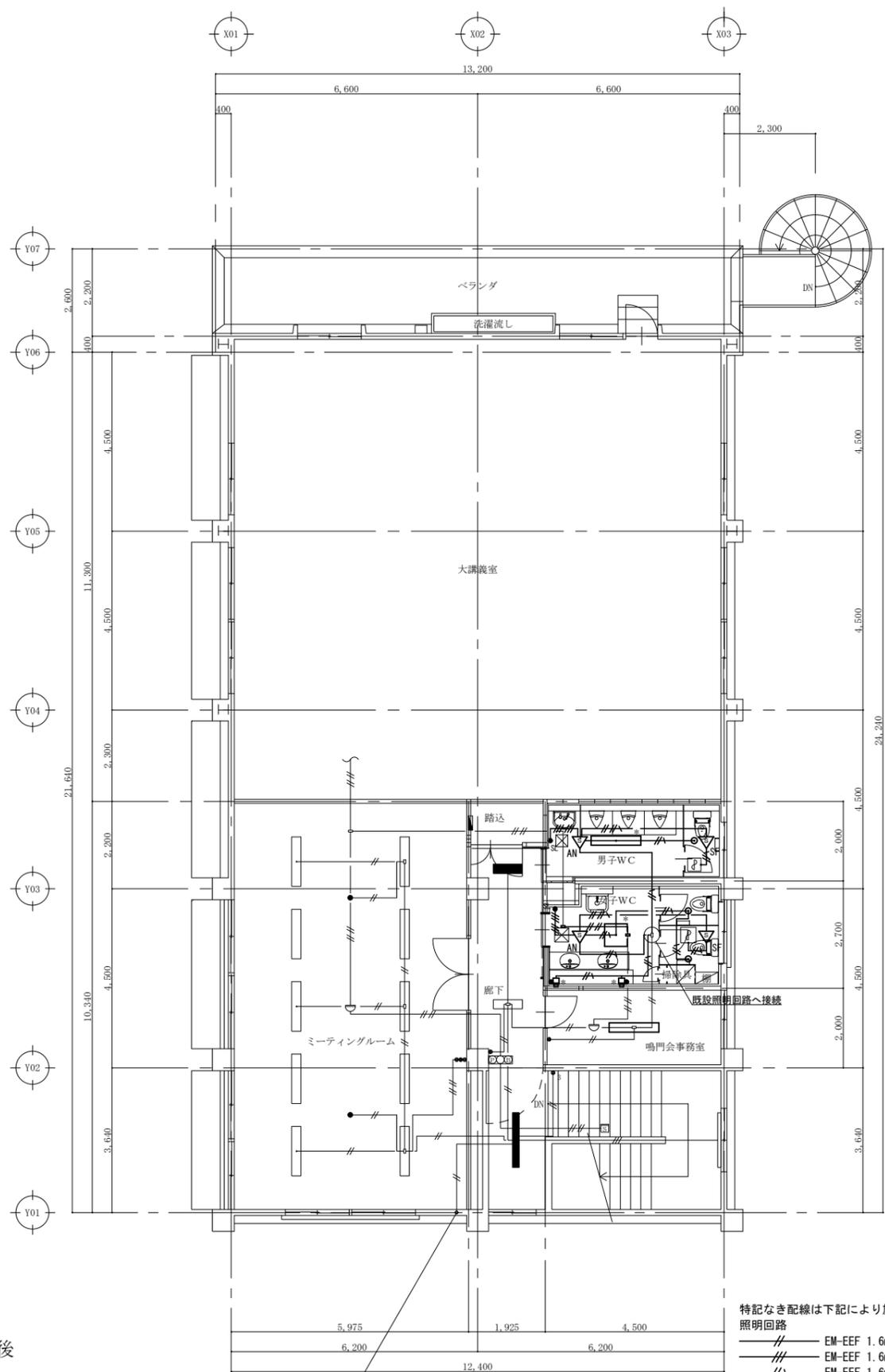
工事名称 R6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築
図名 電灯設備 3階平面図 (改修前・改修後)

図面番号 E-8
縮尺 A2 1/100
A3 1/141

max 株式会社 マックス設計
Urban Consultant
大庄登録 第302457号 知事登録 第11071号
一級建築士 田 淵 宏 樹

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2
TEL0883(52)0574 FAX(53)9840

改修前 → 改修後



男子WC	
D05	1
*B: 再取付	1
女子WC	
D05	2
*K: 再取付	1
*M: 再取付	2

特記なき配線は下記により施工する照明回路

- EM-EEF 1.6mm - 2c
- EM-EEF 1.6mm - 3c
- EM-EEF 1.6mm - 2c, IE1.6mm
- EM-EEF 1.6mm - 3c, IE1.6mm

多芯の場合は上記組み合わせ等による
壁内は合成樹脂可とう電線管 (PF) にて保護すること
転がし配線施工は支持材にて固定支持する
電線管は上記の他、図示にて示す電線管にて保護とする